

これからの学校や教育について、小学生（高学年）、中学生、高校生の皆さんから意見をいただきました。

3,965件の回答がありました。ありがとうございました。

皆さんの意見の一部を紹介します。

また、意見に対する岩手県教育委員会などからもコメントも合わせて載せています。

目次

項目	ページ	項目	ページ
将来の夢や進路に関すること	※追加あり 2	校則や決まりのこと	40
キャリア教育、職場体験に関すること	13	部活動、クラブ活動のこと	41
進学に関すること	15	友達、友人関係のこと	47
学びのこと(各教科など)	19	いじめへの対応のこと	48
1人1台端末(タブレット)のこと	36	奨学金のこと	49
家庭学習や宿題のこと	37	地域やの地域の施設のこと	※追加あり 50
先生のこと	38	文化財や伝統文化のこと	59
学校行事のこと	39		

※学校や個人が分かる内容、相手を傷つけるような内容については、「意見」としてカウントしていません。
※次のページからの分類は、回答してくれた皆さんが選んだテーマと必ずしも一致していません。
※「意見」の一部を抜粋して掲載している場合があります。

いただいたご意見:将来の夢(先生になりたい!)

【中学校】

- ・私は将来、教師になりたいなと思っています。今はまだ、やってみようかな程度だけど、中学校に入って自分の得意分野を生かしてならと思い、中学校の教師になりたいと思っているので、これから勉強を頑張りたいと思います。
- ・将来私は学校の先生になりたいので先生のいちにちのせいかつなどを見たいです
- ・学んでみたいことは、将来の夢の教師の仕事ですることについてと教師になるための勉強について。
- ・先生はどのような勉強をしてなるのか学んでみたいです。

【高等学校】

- ・先生になるまでの道のりを詳しく知りたい
- ・高校3年生という事で、将来の進路について考える事が多くなってきて、関心を持ち始めました。将来は先生になりたいと考えているので、今はより勉強を頑張りたいと思っています。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○先生という職業は、子供たちに寄り添いながら、その成長を実感することのできる、他の職種ではなかなか得がたい経験のできる魅力的な職業です。

○岩手県では、次のような先生を求めています。

- ①分かりやすい授業ができ、子供たちに確かな学力をつけることができる先生
- ②子供たちに対する愛情をもち、一人ひとりの子供と真剣に向き合うことができる先生
- ③豊かな人間性をもち、幅広い教養と良識を身に付けている先生
- ④学校で働く者としての使命感や責任感をもっている先生

○岩手県のホームページでは、教員採用試験についてのお知らせや、実際に学校で働く先生方の声の

ほか、先生方の働き方改革のために作成した「岩手県教職員 働き方改革プラン(2021~2023)」を見ることができます。

○次期「岩手県教育振興計画(仮称)」でも、岩手県が求める先生の姿や先生という職業の魅力について発信することや、これまで以上に大学生等への説明会を多く行うことを大切にしているので、しっかりと取り組み、将来先生になりたいというみなさんの思いを引き続き応援していきます。

「教員採用試験のページ」



「先輩の声」



「岩手県教職員 働き方改革プラン(2021~2023)」



担当:教職員課 小中学校人事担当、
県立学校人事担当

いただいたご意見:将来の夢(スポーツ選手になりたい!)

【小学校】

- ・僕の将来の夢は野球選手なので野球のできる環境があつていいと思います。
- ・プロバスケット選手になりたいです。だから、高い技術を持っている人に教えてもらいたいです。
- ・サッカーが好きでいつも練習しているので日本代表になってワールドカップで優勝したいです。

【中学校】

- ・自分が、大きすぎるかもしれないけど将来の夢である「プロ野球選手」になるために、どんなことをすればよいのでしょうか？
- ・今やっているスポーツを、将来教えたり、すごい選手になってたらめっちゃ嬉しいです!!

自分のやりたいと思ってやっているのは、当たり前のことではないので今コーチに教えてもらっていることを1つ1つ大切に実技したいなあと思いました

【高等学校】

- ・仕事とスポーツを両立することができる、デュアルキャリアというものに関心を持っている。将来、それを実現するために、勉強を頑張りつつ、部活動にも一生懸命取り組んでいる。
- ・プロ選手が教えに来て欲しい

県(教委)からのコメント

【文化スポーツ部】

○県では、これまでの県営野球場を閉場し、R5年4月にオープンした「きたぎんボールパーク」で、プロ野球の試合や高校野球の県大会、他県の大学を呼んで大会を開催したりと、野球の関心が高まるような取組を行っています。

また、各市町村には市町村営の球場があるところもあるので、そのような施設を利用し野球に取り組むことも可能です。

○また、県内のトップ・プロスポーツチーム(岩手ビッグブルズ、いわてグルージャ盛岡、日本製鉄釜石シーウェイブス)と連携し、学校や地域でスポーツ教室や健康づくり教室等の事業を実施しています。

各教室では、参加する方のレベルに合わせたメニューを考えていただいております。スポーツの楽しさを感じてもらうとともに競技レベルの向上にも繋がるよう工夫して取り組んでいます。実施場所の選定は、各チームにお任せしていますが、県内全域での実施となるよう調整をしているところです。

○さらに、県では、スポーツ少年団などのコーチからの指導に加えて、オリンピックを目指したいなど、皆さんの夢を実現する手助けとして、「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」などで、県内の小学生を対象に、様々な競技の体験会や、栄養講習などを開講して、選手の皆さんの技術向上を図られるような取組を行っています。

○また、県では、仕事とスポーツの両立ができたり、競技に専念できるように、アスリートを対象とした就職支援も行っています。

担当:スポーツ振興課 生涯スポーツ担当 競技スポーツ担当

いただいたご意見:将来の夢(文化・芸術系、芸能関係に進みたい!)

【小学校】

- ・私の将来の夢は、漫画家です。その為に、物語を考える力や、その場にあった絵を描けるようになりたいです。
- ・私は絵が好きなので、将来は画家になりたいです。そのために、デジタルやアナログで、たくさん練習します。画家になったら、たくさん絵を描いて、その絵でみんなを幸せにしたいです。
- ・漫画家に会って、絵のかき方を勉強したいです。

【中学校】

- ・将来の夢は、音楽や演技で表現し世界の人に元気を届けることなので、そのために腕を磨きたい。
- ・僕の将来の夢は絶景カメラマンになることが夢なのでこうなったらいいなと思います。
- ・プロに教えてもらうなど他人と触れ合う機会を設けてほしいと思っています。

【高等学校】

- ・小説を書いて生きたい

県(教委)からのコメント

【文化スポーツ部】

○県では、県民の文化芸術活動の成果の発表の場として、岩手芸術祭を開催しており、小中学生を対象とした美術展において、書写と美術の作品の募集を行っています。

また、美術部門として、絵画、工芸、書道、写真などの10分野、文芸部門として、小説、随筆、詩、短歌などの9分野において出品作品を募集し、優秀作品を表彰しているほか、ピアノや声楽のステージでの発表者も募集しています。

○このほか県では、いわてマンガ大賞コンテストを開催し、マンガやイラスト作品を募集し、優秀作品の表彰を行っています。

○さらに、団体や市町村と協力し、国の事業などを活用するなどして、小中学校等にプロの芸術家を派遣し、児童・生徒に講話や演奏等の公演を聞いたり、プロの芸術家から指導をいただく事業を実施しているところです。

○皆さんの将来の夢に近づくための第一歩として、より多くの子どもたちが優れた芸術に触れながら、このような発表の場を活用し、日ごろ磨いた腕を発揮する機会としていただきたいと思います。

担当:文化振興課 文化芸術担当 文化交流担当

いただいたご意見:将来の夢(医師になりたい!)

【小学校】

- ・どんなことができれば医者になれるのか知りたいです。あとどのくらい儲かるのか知りたいです。
- ・精神科の医者になるためにはどのような勉強すればいいか知りたいと思っている。

【中学校】

- ・将来の夢は医師になることです。岩手県は年々、医師の数が減少していると聞いたので、自分が生まれたこの地に戻ってきて人々の支えになりたいです。
- ・将来医師になるために、高校や大学ではどんなことをやるべきなのかを今後知りたい

【高等学校】

- ・医学の道に進みたいが自分に務まるのか心配なのと、勉強をもっと頑張らないといけないので努力をしたい

県(教委)からのコメント

【保健福祉部・教育委員会】

○医師になるためには、大学の医学部に入学して、6年間医療に関する知識を学んだ後、医師国家試験に合格する必要があります。

○医学部は人気があるため、合格するためには質の高い学力が必要になります。また、医師には幅広い知識やコミュニケーション能力等も求められることから、面接や小論文試験がある大学もあります。そのため、日々の授業を大切にしつつ、勉強以外に学校行事や地域での活動などにも全力で取り組みましょう。

○県では高校生を対象に、医師や医学生の講演や医学部進学対策の講座を実施し、医師を志す皆さんを支援しています。

○岩手県の医師の数は増えつつありますが、医師が都会に偏り地方の病院で不足する傾向にあるため、全国との差は開いている状況にあります。どの地域で生活していても十分な医療が受けられるよう、医師を目指す皆さんの力を必要としています。晴れて医師となり岩手県で活躍する日が来ることを心から願っております。

担当：医療政策室 医務担当
学校教育室 高校教育担当

いただいたご意見:将来の夢(看護師になりたい!)

【小学校】

- ・将来のゆめは、看護師になるために、たくさん勉強する。
- ・将来看護師になりたいので健康のことや人体についてべんきょうしたい

【中学校】

- ・将来は看護師になりたいと思っているので大学に行くために勉強に力を入れたい。

県(教委)からのコメント

【保健福祉部】

○岩手県では、これからの医療を支える若い皆さんの力を必要としています。

○時に辛く、困難な壁に突き当たることもあると思いますが、看護師になるという夢に向かって勉強していただき、岩手県の看護師として活躍する日が来ることを心から願っております。

《看護師になる主な方法》

- ① 中学校を卒業後、5年制の看護系の高等学校に通い、国家試験に合格する。
- ② 高等学校を卒業後、3年制の養成所(専門学校等)に通い、国家試験に合格する。
- ③ 高等学校を卒業後、4年制の看護系大学に通い、国家試験に合格する。



←岩手県内の看護師等学校養成所を
紹介しています
↓こちらの二次元コードからアクセスできます



担当:医療政策室 医務担当

いただいたご意見:将来の夢(獣医師になりたい!)

追加

【小学校】

- ・私は、獣医になりたいので動物と触れ合ったり、動物病院を見学できたりなったら嬉しいです。家畜動物や愛玩動物、外来種などがどんな病気になるのか、どんなけががしやすいか、などを学んでみたいです。
- ・獣医について学んでみたい。(獣医が何の仕事をしているのかを知りたい。)

【高等学校】

- ・獣医となってたくさんの動物を助けることができるようになりたい。そのために、放課後や行間時間に学校で気軽に学習を行えるような環境作りをおこなってほしいと思う。

県(教委)からのコメント

【農林水産部】

<獣医師になりたい皆さんへ>

○獣医師は、犬や猫などの愛がん動物や牛などの家畜を診療する「動物のお医者さん」として、動物病院などで働いています。また、県や市町村などで、家畜の病気の検査・予防、食肉の安全性の検査、動物園の動物の診療、野生動物の保護・管理など、とても広い分野で活躍しています。

○獣医師になるには、獣医学の専門知識や技術について、大学で6年間学び、試験を受けて国家資格を取ることが必要です。学校の勉強にしっかり取り組み、苦手な科目を作らないこと、新聞や本を読んでいろいろなことに興味を持つことが大事です。

○獣医師は、動物が好きな人が多いですが、仕事では飼い主とのコミュニケーションも必要ですので、人と接することが好きな人にも向いています。

○県では、県内の獣医師と一緒に、動物愛護週間(9月20日から26日まで)に、しつけ教室など愛がん動物と触れ合う行事を開催しています。

○また、将来、県内で家畜を診療する獣医師として働こうとする大学生等に、修学資金の貸付けを行っています。詳しくは、県ホームページを御覧ください。

「獣医学生への修学資金の貸付について」



担当:畜産課 振興・衛生担当

いただいたご意見:将来の夢(公務員になりたい!)

追加

【高等学校】

・私は高校卒業後、岩手県の公務員になりたいと思っています。しかし、高卒の採用枠はとても小さいものです。そこで高卒の枠をもっと拡大してほしいです。もしくは面接時の枠があるのならば撤廃してほしいです。高卒よりも大卒の方を大幅に優遇している気がします。やっぱり最後は志望動機や人間性、気持ちで決めてほしいです。学歴の差はそこまで大きなものなのですか？人間性と学歴、重視しているのはどちらですか？

県(教委)からのコメント

【総務部】

○県では、複雑化・多様化する県民ニーズに 대응していくため、いわて県民計画(2019~2028)において、目指す職員像として、「高い先見性とグローバルな視点を備え、世界の中の岩手を意識しながら、県民視点で県全体の利益を追求する職員」を掲げ、県政全般を広い視野で捉え、県民視点で県全体の利益を追求する職員を確保・育成していくこととしています。

○県職員として活躍していくためには、志望動機や人間性、気持ちが大切であることはもちろんですが、様々な課題に対応し解決していくために必要な「考える力」も重要であると考えています。

○採用人数は、各年度で必要となる職員数や年齢バランスなどを総合的に考慮して決定するものであるため、その年によって変動してしまうところもありますが、なぜ県職員になりたいのか、県職員になって何がやりたいのかなどを深掘りしながら、日々の勉学にも励んでいただき、「考える力」も養っていただきたいと思います。

担当:人事課 人事担当

いただいたご意見:岩手の農業のこと

【小学校】

- ・農業の人工知能の促進【理由:そうしたほうが少子高齢化の今でも高齢者が農業を続けやすく若い世代でも分かりやすいからです】
- ・酪農ヘルパーになりたいので、酪農ヘルパーの仕事の体験学習や、酪農に関係がある学習をする所が増えたらいいなと思いました。
- ・ぼくは、将来米農家になりたいので、米について、たくさん調べてみたいです。それと、米を作るためにはどういう自然環境がいいのかも、調べてみたいです。

【中学校】

- ・農業をしたいので農業のことについて学びたいです

【高等学校】

- ・私の家は、稲作と肉畜を営んでおり、両親が誇りを持って仕事している姿に憧れを持ちました。私は将来、実家の農家を継ぎたいと思っています。私が農業関係の仕事に就いたら、地元の農業がさらに盛んになるよう、多くの農家さんの手助けをしたいと思っています。
- ・農業をたくさん広める事業をしていきたい

県(教委)からのコメント①

【農林水産部】

<農業DXに関心のある皆さんへ>

○農業を少子高齢化に対応した若い世代に魅力ある仕事としていくためには、人工知能等による農業のスマート化の取組は必要なことと考えています。

○県内でも、農業の生産現場に、温度や二酸化炭素等をセンサーで測定し、自動で農作物に最適な環境にコントロールする技術や、GPSで農業機械を自動で動かすロボット技術等が導入されてきており、農業のスマート化が始まっています。

○一方で、人工知能等や自動化した機械の精度、価格等に課題がある場合もあるなど、現在の農業のスマート化の技術は、誰でも活用できるレベルまでは発展していないという課題もあります。しかし、技術の進歩は早く、年々改良され、良い製品や技術が開発されています。

○皆さんに農業が魅力ある仕事として感じてもらえるよう、県も最新技術の開発や生産現場への普及に取り組んでいきます。

○農業のスマート化の研究について知りたいときは、岩手県農業研究センター(0197-68-2331)に相談ください。

担当:農業普及技術課 技術環境担当

【農林水産部】

＜酪農を学びたい皆さんへ＞

- ・ 県では、酪農家が休みを取る時などに、代わりに作業を行う酪農ヘルパーについて、とても大切な仕事だと考え、皆さんに魅力ある仕事と感じてもらえるよう取り組んでいます。
- ・ 酪農ヘルパーを仕事としたいと考える皆さんに、酪農ヘルパーの業務体験や酪農関係者との交流の機会を持ってもらえるよう、JA全農いわてでは、「酪農ヘルパーになろう」というホームページを作成し、酪農ヘルパーの仕事を紹介するとともに、インターンシップの応募を受け付けていますので、ぜひ御覧ください。(https://www.junjo.jp/rakunou_helper/index.html)

担当：畜産課 振興・衛生担当

＜農業を学びたい、農家になりたい皆さんへ＞

○県では、岩手県立農業大学校で、食べ物や農業の大切さを知ってもらうために、小学生や中学生を対象とした農業体験研修を開催しています。農業体験研修は、学校単位での申込が必要になりますので、学校の先生と相談してみてください。

○県内で農業を始めたい方への支援、就農相談会の開催日程、農業を始めた方の事例等について、県のホームページ「いわてアグリベンチャーネット」で情報発信していますので、ぜひ御覧ください。(<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>)

○国際競争時代に通用する経営感覚と企業家マインドを持った農業経営者等を養成する学びの場である、「いわてアグリフロンティアスクール」を県、岩手大学、農業団体が共同で運営しています。

○また、県では、米農家の皆さんがおいしいお米を安定して生産できるよう、岩手県の自然環境に合った「金色の風」や「銀河のしずく」などの品種開発や、スマート農業などの技術開発と普及を進めています。

担当：農業振興課 担い手対策担当
農業普及技術課 普及担当
農産園芸課 水田農業担当

いただいたご意見:岩手の水産業のこと

【小学校】

- ・僕は、将来漁師になりたいから海のことをもっと勉強したいです。
- ・養殖の仕方みたいなを知りたい

【中学校】

- ・将来の夢が漁師なので、漁師の仕事を体験したり、海のことについてもっと深く学んでみたいしたい。

県(教委)からのコメント

【農林水産部】

＜水産業を学びたい、漁師になりたい皆さんへ＞

○漁業を仕事にしたいと考える皆さんに、岩手県の漁業と就業への理解を深めてもらえるよう、公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金では、「三陸いわて漁師への道ガイドブック」を作成しています。このガイドブックでは、岩手県で行われている主な沿岸漁業等を紹介しています。

○また、「岩手県水産技術センター」のホームページでは、岩手の海にすむ魚や、岩手県沿岸の海の状況、岩手県で行われている養殖の仕組みなど、海のことについて多く発信していますので、御覧ください。

○さらに、県では、関係団体や市町村と連携し、「いわて水産アカデミー」を開講しており、漁業就業希望者等を対象に、漁業を始める上で必要な知識や技術を学ぶ研修や、漁業現場での実践的な研修を実施するなど、漁業を志す皆さんを支援しています。

「三陸いわて漁師への道ガイドブック」

https://if-ninaite.or.jp/_kanri/wp-content/uploads/2021/07/ni-iwateryoushi-gaidebook.pdf

「岩手県水産技術センター」のホームページ

<https://www2.suigi.pref.iwate.jp/>

【教育委員会】

○岩手県には、宮古水産高校、高田高校、久慈東高校に水産業に関わる学科や系列があり、海のこと、養殖のこと、船舶のことが学べます。

○各高校の学びや取り組みなどの特色や魅力は

「ハイスクールガイド」やウェブ配信サイト「note」

で紹介していますのでぜひご覧ください。



ハイスクールガイド



岩手県教育委員会note

担当:水産振興課 漁業調整担当
学校教育室 産業・復興教育担当

いただいたご意見:将来の夢(建設・建築関係に進みたい!)

【小学校】

・僕の将来の夢は、宮大工になることです。将来は、ちゃんとなれているかとか、どんな学校に入っているかとか、気になってたまりません。やってみたいことは、自分で考えて自分で作った家に住んでみたいです。

・設計士になりたいので、家の構造や仕組みなどを学んでみたいです。自分の造った建物などに沢山の人が、住んで喜んでもらったらいいなと思いました。

【中学校】

・建築会社に入りたいので技術で何か作りたいです。

・建築家になりたいです。建築方法や有名な建築物などを知りたいと思っています。また、実際に見てみたり、その建築物がどこに建っているのか(立地)などを知りたいと思っています。

【高等学校】

・建築士になりたいから、それに向けて色々やる

県(教委)からのコメント

【県土整備部】

○皆さんが生活している住宅や学校、お店などは、建物の設計をする建築士や工事をする大工さん、建設会社や設備会社の人など、さまざまな役割を持った多くの人の協力によって建てられています。どの仕事も、人の暮らしをかたちづくり、また感動を与えることができる、やりがいのある仕事です。

○また、建物を建てる以外にも、私たちの暮らしに欠かせない道路や橋、港、ダムなどを作る仕事があります。この建設業で働く人たちは、地震や台風などの災害が起こったときに、私たち県土整備部と連携しながら、建物や道路などを修理をしたり、被害を防ぐための防災施設を作ってくれています。

○このように建設業にはさまざまな分野の仕事があり、どれも私たちが安全・安心なまちで豊かな暮らしができるための、大事な役割を果たしています。岩手県に住んでいる方々にとって、住み良いまちになるよう、一緒に取り組んでいきましょう。皆さんが、建設・建築関係の仕事に就いて、活躍することを心から願っています。

渋滞を緩和する道路の整備(杜の大橋)



土石流の被害軽減のための堰堤整備
(尾崎白浜の沢(4))



災害公営住宅の整備
(栃ヶ沢アパート)



県土整備行政の概要

県土整備 行政



担当: 県土整備部

建設技術振興課 建設業振興担当

建築住宅課 建築指導担当

県土整備企画室 企画担当

いただいたご意見:将来の夢や進路、職業などについて学びたい!

【小学校】

- ・岩手県にはどんな会社があるのかを知りたいです。
- ・もっと学校で、将来についての考えることを、もっと増やしてほしいです。

【中学校】

- ・将来の仕事の選択肢をもっと広げたい
- ・進路についての講座があれば行ってみたい

【高等学校】

- ・この地域で発足している会社、経営にはどのようなものがあるのか
- ・小学校の頃から継続して進路や将来について考える機会があると嬉しいです。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

- 岩手県のホームページには、各広域振興局が作成した「企業ガイドブック」がリンクされています。県内の地域ごとに企業情報がまとめられていますので活用してください。
- 多くの企業では、ホームページで会社のことや仕事の内容などを工夫を凝らして分かり易く解説しています。
- また、企業では職場体験やインターンシップを通じて、学校ではオープンキャンパスや文化祭などを通じてそれぞれの魅力を発信していますので、積極的に参加して実際に雰囲気を感じ取ることも、将来を考えるうえで大切な機会となります。
- 1人1台端末などを活用し、興味・関心のあることについて調べたり、まとめたことを発信したりしながら自分の将来について考えを深めることは大切な学びであると考えています。気になる学校や企業について調べてみることも、新しい目標の発見など将来を考える良い機会になると思います。
- 次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においても、「キャリア教育を充実すること」を盛り込み、皆さんが10年、20年後を想像して進路を選択し、決定できる力を育成するために、小学校、中学校、高校と継続したキャリア教育を引き続き行うこととしています。
- 例えば、「キャリア・パスポート」を活用して、クラスメートと共に自身の成長、夢や目標などを振り返りながら将来を話し合うことで、夢の実現へ歩いて欲しいと思います。

担当:学校教育室 産業・復興教育担当

いただいたご意見:職業体験をしたい!

【小学校】

- ・職業体験などをしてみたい。
- ・将来の仕事や進路について、本やインターネット調べてみたいと思いました。また、詳しい人や親にも聞いてみたいと思いました。

【中学校】

- ・いろんな進路や生き方の話を聞いて、生き方の選択のイメージを持って、将来に繋がりたい。
- ・どのような職業があるのか、どの職業が自分に合っているのかを知りたいです。また、もっと様々な職業に就いている人の話を聞いてみたいです。

【高等学校】

- ・職業体験が中学校の時に出来なかったので興味のある職業を体験したい。
- ・子供たちが将来の夢を明確に持てるよう、様々な職業に触れられる機会を小中学生に設けるべき。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

- 新型コロナウイルス感染症の影響でできなかった職場体験やインターンシップなどの体験学習も徐々にできるようになってきました。
- 自分の将来を考え、自分で進路を選ぶことができる力を身に付けるためには、体験学習等の充実が大切です。
- 皆さんにはぜひ学校や地域で行われる様々な活動に積極的に参加して、多くの友達や地域の方と交流し、自分の考えを深める経験をして欲しいと思います。
- 体験活動に参加した後は、一緒に体験した人たちと感想などを共有して、次の学びに繋げるための参考としてください。
- 次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においても、「キャリア教育を充実すること」を盛り込み、社会人との交流会を開催したり、県内の企業と連携した企業見学会や企業ガイダンスを開催したりするなど、引き続き皆さんの体験活動の充実にも取り組むことにしています。

担当:学校教育室 産業・復興教育担当

いただいたご意見:高校入試制度のこと

【中学校】

- ・何故岩手は入試の点数と内申点の比率が5対5なのか。青森みたいに本番を重視した比率にしてほしいなあと思った。岩手は上司に忠実な人材を育成したいのかな
- ・高校の入試制度を詳しく知りたいです。また内申点のことについても知りたい
- ・内申点の制度は生徒の夢を奪う行為だと思います。人の多様性を尊重せず生徒を数字で評価する、というのはどうなのでしょう。このような多様性を否定し、生徒の夢を奪う、内申点という仕組みをやめていただきたいです。
- ・先生にレッテルを貼られている気がするから、内申点制度を廃止していただきたいと思っています。
- ・高校受験の内申点が他の県と比べて高すぎるので下げて欲しいです。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○岩手県立高校入試の一般入試では、5教科の学力検査500点、調査書440点、面接等60点の合計1000点で選抜を行っています。

○一般入試の選抜では、まず、募集定員の7割は「学力検査の得点」と「調査書・面接等の得点」を同等に扱って選考を行い、その後、残りの3割について、「学力検査の得点」と「調査書・面接等の得点」を同等に扱う選考、「学力検査の得点」を重視する選考、「調査書・面接等の得点」を重視する選考のうちから各高校が選択した方法で選考を行います。他の都道府県の公立高校入試でも、岩手県立高校入試のように「学力検査の得点」と「調査書・面接等の得点」を同等に扱って選考することを基本としている例は少なくありません。

○調査書点(いわゆる「内申点」)は、中学1~3年の9教科の評定から算出されます。

高校入試で「調査書点」を活用するのは、中学校3年間の継続した取組を評価することや学力検査を実施しない教科についても把握することで、学力をバランスよく、正確・公平に把握するためです。

○令和7年度入試(令和6年度中に実施)からは、各高校が「学力検査:調査書」の配点の比率を「7:3」、「6:4」、「5:5」、「4:6」、「3:7」のうちから1つ選ぶこととしています。高校入試制度については、県HP等でお知らせしていますので、見ていただきたいと思います。

担当:学校教育室 高校教育担当

いただいたご意見:高校について知りたい!

【小学校】

- ・進路についてはどんな風に学校を選ぶのかもどんな学校があるのかもほとんどわかってない状態なので、そこについても詳しく知りたいです。
- ・アイドルになりたいので芸能科のある高校に行きたいです。岩手にも、芸能科のある高校を作ってほしいです。
- ・漫画家になりたいので、岩手県に、漫画について学べる学校が、あったらいいなと思います。

【中学校】

- ・県内の高校の様子や特色等が詳しくわからないことがあるので、県内の高校の情報をまとめたホームページを作ってほしいです。
- ・それぞれの高校の特徴をもっと知りたい。今やっている進路学習よりもっと深い学習をしたい。その高校に入ってからのことも知りたい。
- ・自分の行きたい所の高校の事や、進路について、学んだり、調べたりしたい。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

- 岩手県教育委員会では、高校への進学を目指す中学生の皆さんが、志望する高校を選択する際に活用できるよう県立高校について紹介する「ハイスクールガイド ~岩手県立高校案内~」を毎年作成しています。
このガイドでは、県立高校にはどのようなタイプがありどのようなことを学ぶことができるのか、興味を持っていることがどの高校で学べるか、各県立高校の特色は何か、どのような部活動を設置しているか、などについて紹介しています。
- また、ウェブ配信サイト「note」を活用して、学校や地域の関係者による高校魅力化の取組を紹介しています。
各県立高校の学校行事の様子や、授業の様子なども数多く発信していますので、ハイスクールガイドとあわせてぜひ御覧ください。
- 現在、岩手県教育委員会では、10~15年先を見据えた今後の高等学校教育のあるべき姿について、専門家の方々の考えを伺う会議を開催しています。

ハイスクールガイド



岩手県教育委員会note



担当:学校教育室 高校改革担当

いただいたご意見:大学等への進学のこと

【中学校】

- ・大学にあるそれぞれの学部で主に学べること、どんな人がその学部を目指しているのかといったことや、大学入試共通テストと、各大学の二次試験などはどんな感じのテストなのか軽く知っておくくらいには学んでみたい。
- ・各職業につくために必要な資格やそれに関連する大学、理系文系の進路などについて学びたい。または、その進路について各自で調べ学習のようなものをやってみたい。
- ・大学の各学部学科で何を学ぶことができるのか、どのような人材が適しているのかなどを学んでみたいと思いました。

【高等学校】

- ・先輩方からお話を聞く場や大学生との交流の場をもっと増やして欲しい。
- ・進路実現のためにオープンキャンパスに行ったり、自分のなりたい職業の人に話を聞いてみたい。
- ・将来の夢について、具体的に思い浮かばない人や決められないと言う人が多くいる中で、文系と理系に分かれる時までには与えられる情報が少ないと感じました。自分で調べることも重要ですが、将来の夢がないという人ほど文系と理系で行ける大学の違いや、就職先についてあやふやのまま、なんとなく選んでいる人も多いと思います。もっと調べる時間を多くすることや、先輩たちの話を、個別で聞く時間などが増えたら良いなと思いました。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○大学等で開催されるオープンキャンパス、見学会、説明会等では、学生から直接話を聞くことができる機会が用意されていることがあります。高校によっては、進路指導の一環として、卒業生と対話する時間を設けている学校もあります。そうした機会を活用してください。

インターネットには、進学に関する情報を扱ったサイトがありますし、大学や専門学校のホームページもあります。様々な方法で、大学等の学校選びや入試に関する情報を集め、じっくりと考えてみてください。

○岩手県教育委員会では、毎年12月に県内の大学の協力を得て、高大連携「ウインター・セッション」を開催しています。実際に大学のキャンパスで、大学の先生から講義を受けることができます。県内の高校生にとって、自分の進路を考える際に大変参考になる取組になっています。

○次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においても、「キャリア・パスポートの活用などによるキャリア教育の推進」を盛り込み、将来の社会人・職業人として自立して生きるために必要な能力を小・中・高校へと継続して育む教育に取り組んでいきます。こうした学習の機会を活用して、進路についての考えを深めてください。

○進路実現のためには様々な困難を乗り越える必要がありますが、困っていることなどは、個別の面談等を通して学校に相談してみましよう。

担当:学校教育室 高校教育担当

いただいたご意見：進路相談、進路選択のこと

【中学校】

- ・気軽に相談できる企画、環境
- ・気軽に話せる場所があるといいと思う。

【高等学校】

- ・将来の夢を最初から諦めずに挑戦出来るようにしてくれる環境があれば良いと思う。
- ・就職や進学の際の、県内での多様な選択肢が選べるようにしてほしい。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

- 進路相談については、進路指導担当の先生や担任の先生がみなさんに寄り添った的確なアドバイスをしてくれると考えます。
- また、みなさん一人ひとりについて、学級、授業、部活動等多方面から複数の先生方が見守っています。
- ですから、進路のことについても、まずは話しやすい先生に相談してみませんか。
- なお、岩手県教育委員会、24時間子どもSOSダイヤル(0120-0-78310)やふれあい電話(0198-27-2331)などでも進路に関する相談に応じますので活用してください。
- また、将来のことを自分で考え主体的に進路選択をしていくために、みなさんには学校での学びを社会と関連付けたり、振り返ったりする機会をつくってほしいと思います。
- 次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においても、「キャリア教育を充実すること」を盛り込み、皆さんが10年、20年後を想像して進路を選択し、決定できる力を育成するために、小学校、中学校、高校と継続したキャリア教育を引き続き行うこととしています。
- 例えば、「キャリア・パスポート」を活用して、自身の成長、夢や目標などを振り返りながら、友だちと将来について話し合うなど、夢の実現へ歩いて欲しいと思います。

担当：学校教育室 産業・復興教育担当

いただいたご意見:学びのこと(国語)

【小学校】

- ・いろいろな教科にチャレンジしていきたい。国語では、文章を詳しく読んでより深めていきたい。
- ・漢字や国語が苦手なのでもっと学びたいです。

【中学校】

- ・物語を読み取るのは難しいけどそれができるようになりたい。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○国語の学習では、ただ文章を読むだけではなく、例えば、「分かったことや考えたことを書いたり、発表したりするために読む」というように、児童生徒のみなさんが意欲と目的をもって文章を読みながら力をつけられるように学習をすることを大切にしています。1人の読みだけではなく、仲間と交流することによって、さらに読みが深まります。そのような学習の場面では、ぜひ、積極的に考えを伝え合い、読みの深まりを実感して、国語の楽しさを味わってほしいです。また、物語の作者のことなど、学習の中で興味をもったことについて、1人1台端末を使って、家庭で調べることもできます。そのような興味が広がると、さらに国語が楽しくなると思います。

○漢字は繰り返し練習だけでなく、いろいろな文章を読んだり、読書したりすることも、漢字にたくさんふれることになり、覚えることにつながります。

○みなさんが物語などの文章を読む楽しさやおもしろさを味わえる学習を目指しています。そのため、例えば、「登場人物の気持ちをとらえる力がついた」と実感したり、「登場人物同士の関係をとらえられるようになりたい」と次の学習の目標をもつことができたりするように、国語の学習でどんな力が付いたのかを、みなさんと確かめ合いながら進めることを大切にしています。ですから、みなさんも「どんなことを学べたか」を意識して振り返ってみましょう。

いただいたご意見:学びのこと(算数・数学)

【小学校】

- ・苦手な算数をわかりやすく優しく教えてほしいです。
- ・算数でもっといろいろなことを学びたい。

【中学校】

- ・理科の授業と、数学との関わりが気になる。
- ・授業の内容を将来に生かしていきたいです。数学とかの内容をしっかり理解したいです。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○算数・数学で学ぶ内容には、お金の計算など、直接生活の中で役立つことを実感できるものもたくさんありますが、学習している中で、「これはどんなところで役立つのだろうか?」と疑問に思うこともあるかもしれません。しかし、数学は直接見えないところでも私たちの生活を支えています。飛行機が空を飛べるのも、スマホでコミュニケーションができるのも、コンビニで便利に買い物ができるのも、実は数学の力が大いに役立っています。ぜひ、みなさんもどんなところで数学が役立っているか、探してみてください。

また、算数・数学を学ぶことをとおして、「考える力」が高まります。例えば算数・数学では「三角形の面積=底辺×高さ÷2」など、たくさんの「公式」が登場しますが、それを覚えるだけでなく、「なぜこのような式になるのか」という理由まで納得できるようによく考えることが、「考える力」を高めることにつながります。

○県では、「確かな学力育成プロジェクト」の取組をとおして、児童生徒のみなさんが楽しく学び、「わかった」「できた」という達成感を得られるような授業づくりを目指しています。

また、よい授業をつくるためには、よい学級づくりが大切であると考えています。友達と教え合ったり、「わかりません」と気軽に言えたりする学級にしていくためには、みなさん一人ひとりの力が必要です。

○みなさんは学校でたくさんの知識や技術を学びますが、それらを学びやすいように、「教科」として整理しています。数学で学習した内容が、理科の学習の中で役立つことがたくさんありますし、このような教科の関連は、理科だけでなく、美術や音楽、体育などの中にもあります。ぜひ探してみてください。

また、現在、「STEAM教育」など、教科の枠を超えて、各教科で学んだことを総合的に活用しながら問題を発見したり、解決したりする学習活動が目立っています。様々な教科で学んだことを生かして、日常生活をよりよくすることができます。このように、学んだことを活用する力が、将来必ず役立ちます。

担当:学校教育室 義務教育担当

いただいたご意見:学びのこと(外国語)

【小学校】

- ・外国語をもっとしゃべれるようになるように、外国語の学習をもっとやりたいです。
- ・世界の言葉について学びたい。学んだ言葉で、海外の人と交流してみたい。英語が、しゃべれるようになりたい。覚えれば、生活や将来、役立つと思うから。最近図書館に行って、いろんな国の言葉を見て、勉強したいと思ったから。英語以外にスペイン語や、ドイツ語、イタリア語など勉強したい。

【中学校】

- ・英語は使えれば人生を豊かにできたり、誰かの手助けができたり必ず自分の役に立つので英語を勉強をできる進路を選びたい。

【高等学校】

- ・高校にも将来国際系に進みたい生徒に向けて、英語以外の語学を勉強したり、国際交流できたりする取り組みがしたい。
- ・私は、外国語を学んでみたいです。現在、学校で英語を学んでいて、おもしろいと思う部分が多いです。音楽でも外国語の曲を聴いたり、日本語の歌詞の中に英語が混ざっていたりすると、意味が理解できないのがもどかしいです。調べることもありますが、それをせずとも理解できるに越したことはないと感じます。また、自分の視野や活躍の幅を広げるという点でも有効だと思うので外国語を学んでみたいと思います。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○どのコメントからも、みなさんが前向きに外国語を学ぼうとしている様子が伝わってきます。日本の全ての学校では、小学校3年生から高校3年生まで10年間外国語を学ぶ機会があります。これは、日本が、英語をはじめ、世界の国々のさまざまなことばを大切に、地球上の多くの人たちとより良いコミュニケーションを図っていくことを大切にしようと考えているからです。英語を学ぶことは、世界中の人々と交流し、自分の世界を広げることと強くかかわっているのです。

○はじめはまちがいがあってもいいので、ぜひ学んだ英語を使って、実際に話したり書いたりすることに挑戦してみてください。最近では、デジタル教科書や1人1台端末などにより、英語の音声を聞きながら楽しく学ぶことができるようになってきています。英語での音楽や映画鑑賞、読書なども楽しみながら、世界中にたくさんの友達が増えていくことを実感してほしいと思っています。

○岩手県の小中高等学校では、楽しく、世界中の人々と自分の思いや考えを交流し合える英語の力を育てるための授業を目指して、先生方の研修を行っています。みなさんからの「こんなことを学んでみたい」という声を、授業をよりよくするためのヒントとして、より一層研修を進めていきます。

担当：学校教育室 義務教育担当、高校教育担当

いただいたご意見:学びのこと(理科)

【小学校】

- ・医学のことや、研究系のことを学んでみたい。
- ・人の体の仕組みやどこが何の病気になるのかなどについて学んでみたい。
- ・理科の授業でたくさんの実験をして、今知らないことなどを実験を通して知りたいです。

【中学校】

- ・理科の授業で化学と人体について学んでみたい。
- ・ブラックホールに入りたい。宇宙はどこまで続いているのか知りたい。

【高等学校】

- ・まだやったことのない理科実験。
- ・なぜミミズは干からびるのか。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○理科の学習では、自然に進んで関わり、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を基に結論を導き出すなど探究の活動が大切とされています。疑問に思ったことを確かめるために実験方法を自分で考えたり、実験の結果を基に分析して考察したりすることは、これからの社会で未知の問題や出来事に向かっていくために大切な力です。理科の授業で取り扱う実験は決まっているものが多いですが、実験方法を自分で発想しながら、問題の解決に取り組んでほしいです。また、学習したことを基に自分で実験計画を立てて問題解決に取り組む学習等も考えられます。みなさんが理科の学習が大好きになるような授業づくりを先生方と考えていきます。

○理科の学習等で学んだことを日常生活に結び付けて考えることはとても大切です。現在学習していることは、実際の人間の体の働きや宇宙の仕組み、最先端の科学技術につながっており、学習したことを日常生活に当てはめると様々な技術がこれまで学んだことを生かしたものになっていることが多いです。小学校から中学校、そして高校へと進むと理科の学習はだんだん専門的になっていきます。理科等での学びを生活の中に当てはめて考えてみましょう。その中で興味を持ったことがあったら、自分で仮説を立てて試してみることも考えられます。また、この世の自然現象についてまだ説明できない現象もたくさんあります。自分で仮説を立てて、解決に向けて取り組んでみると、新しい発見につながるものがたくさんあるでしょう。

担当：学校教育室 義務教育担当、高校教育担当

いただいたご意見:学びのこと(社会科・地歴公民)

【小学校】

- ・昔の人が日本でどのようなことをしたかを知りたい。
- ・歴史の安土桃山時代を学びたい。

【中学校】

- ・海外の食文化・発展しているもの・日本との相違点などについて詳しく学習したい。
- ・授業で、自分たちの「学校やまち」について、もっと深く学習することや、歴史について、そして、実際に行ってみる等の取組をしても良さそうだなと思いました。そして学んでみたいなと思いました。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○小学校の社会科では、3年生から5年生まで、みなさんの身近な地域や市町村、都道府県のように人や人々の生活について、また日本の特色ある地域の人々の生活について学習します。6年生では、国会のしくみなど、政治について学習したあとで、歴史を学習します。狩りをしてきた時代から現代まで、大まかに日本の歴史を知ることができます。

○中学校になると、社会科は地理、歴史、公民と教科書が3冊に分かれ、専門的な内容を深く学ぶことができるようになります。また、例えば地理では、世界や日本の学習を生かして、地域の課題を見だし、解決に向けて考え、調べたことをまとめたり、歴史では、「身近な地域の歴史」について、実際に自分でテーマを設定して、調べたことをまとめたりします。それぞれの分野で、興味や関心のあることをもとに、自分で課題やテーマを設定して調べ、調べたことをまとめる内容が設けられています。

○みなさんが資料や調査活動などを通して調べたり考えたりしながら、日本や世界の地理や歴史について、興味や関心をもって追究したり解決したりする活動がもっと行われるように、先生方と研修に取り組んでいきます。

○みなさんも、ぜひ1人1台端末を積極的に使い、日本や身近な地域の歴史や海外の文化など、家庭学習でも自分の興味・関心のある内容をどんどん調べて、学びを深めていってください。

担当:学校教育室 義務教育担当

いただいたご意見:学びのこと(社会科・地歴公民【地域の歴史、文化】)

【小学校】

- ・自分の住んでいる地域の歴史や文化のことが色々知りたいです。
- ・岩手県に生まれ、日本のために尽くした偉人について、地域の方のお話や資料などで詳しく知りたい。

【中学校】

- ・地域にはどのような歴史や文化が残っているのかを知りたい。また、体験できるものがあれば体験してみたい。
- ・地域の文化財や観光スポット(歴史)などを知り、地域の魅力をもっと知りたい。

【高等学校】

- ・地域の歴史について、どのような歴史や文化があるのかを町の人の手を借りて知りたい。地域の歴史を学ぶことでこれからの世代に歴史や文化を伝えていきたい。
- ・自分が住んでいる地域についてどのような歴史があり、今後どのようなようになっていくのかの推移が知りたい。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○中学校の社会科では、歴史で「身近な地域の歴史」について、実際に自分でテーマを設定して調べ、調べたことをまとめる時間が新しく設けられました。

○県のホームページには、道徳の教材として、岩手の発展に尽くした先人について取り上げている読み物資料集を紹介しています。また、市町村のホームページには、それぞれの地域の文化財や体験活動などについて案内しているところがあります。

○ぜひ、こういったものを活用しながら、学校での学びをさらに深めてみてください。そして、興味・関心をもったことについて、さらに自分で調べ、地域の魅力、岩手の魅力を発見してみましょう。

○高等学校では、地域のことについて調査したり、地域の課題を探究したりする学習を行う場面がありますので、そういった学習や学校または地域の図書館の利用などを通して地域の歴史や文化について学び、今後の地域の在り方について考えを深めていってください。

担当:学校教育室 義務教育担当、高校教育担当

いただいたご意見:学びのこと(体育・保健体育)

【小学校】

- ・みんなが健康に生活することができるようにもっと運動量を増やすといいと思う。
- ・もっと体育をふやしてほしい。

【中学校】

- ・体育の授業でもっと幅広いスポーツに触れたいと思っています。
- ・自分はスポーツが好きなのでスポーツの重要性だったり楽しさなどをもっと学んでみたいです。

【高等学校】

- ・保健体育の時間でもっと性教育を具体的に教えて欲しい。教科書だけを見てるとなんのことか分からない単語があることがあるので、男女で別れたりなどして詳しく教えて欲しい。
- ・体を動かす大切さをインターネット社会に自分が広めていきたい!

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○体力を高めることや健康で過ごすために、運動をすることはとても大事なことです。小学生は色々な動きができるようになることを学ぶ時期で、苦手なことも今のうちに取り組むことで、将来、自分がやりたい種目にも生かされます。

○中高生の皆さんには、数多くの運動やスポーツの経験をする中で、その楽しさや魅力を味わうことができるようになって欲しいと考えています。もちろん学校の授業でも味わえますが、学校以外でも多くの運動やスポーツに触れる機会があります。ぜひ、興味を持った運動やスポーツに積極的に取り組んでみましょう。

○多くの運動やスポーツには、体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、自分に取り組んだり、見て応援したり、運動やスポーツに取り組む人たちをサポートしたり、プロスポーツ等について調べたりする、多様な関わり方があります。自分にあった関わりの中で感じた、楽しさや魅力を多くの人に伝えていくことができると、もっともっと岩手のスポーツが盛り上がります。

○県では、体育や性教育等の保健各分野における授業充実に向けて、教員の資質や指導力の向上を図る研修を行っています。

担当:保健体育課 学校体育担当

いただいたご意見:学びのこと(美術・芸術)

【小学校】

- ・もっと、図画工作の、授業を、増やして欲しいです。
- ・絵を描く学習があるといいです。

【中学校】

- ・美術で、デジタルイラストについても知りたいです。
- ・もっと芸術に触れ合う、創作するような活動があればいいと思う。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○日本の学校では、各教科で学習する授業の時間がおおよそ決められています。図画工作は、学年に応じて週1~2時間の授業時間になっています。もっと授業時間を増やすことは難しいですが、普段の生活の中でも学んだことを生かし、取り組んでみることはできると思います。また、夏休みや冬休み等を利用して授業時間では取り組むことが難しいことにチャレンジすることもよいと思います。

○美術の学習でも1人1台端末を活用した活動が増えてきています。例えば、制作途中の作品を撮影したり、記録したりして、完成後に自分の制作過程を振り返ることに活用したり、どんなことを表したいのか発想したり、どのように表そうとするのか構想したりするなど、考えを広げたり深めたりする場面でも活用ができます。学校だけでなく、家庭でも端末を活用しながら、ぜひ美術で興味・関心のある内容について、学校での学びを生かして探究してみてください。

○中学校では、美術の時間だけではなく部活動や文化祭の取組等を通して、創作する活動の機会もあります。また、自校の文化祭や岩手県中学校総合文化祭など、同じ中学生の作品や演目に触れる機会もあります。中学生のみなさんには様々な機会を生かして、芸術に触れ、豊かな心を育ててほしいと思います。

いただいたご意見:学びのこと(音楽)

【小学校】

- ・音楽の内容を増やして授業したい。
- ・音楽は、楽器のことを色々学んでみたい。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○小学校の音楽では、歌うこと・楽器を演奏すること・音楽をつくること・音楽を聴くことの4つの学習を行います。1年間を通して4つの学習に取り組みながら、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わられるようにしていくことをねらいとしています。

○小学校の楽器を演奏する学習では、いろいろな楽器(打楽器、旋律楽器、和楽器など)の中から、学年や学校の実態に応じて楽器を選んで学習します。また、音楽を聴く学習では、オーケストラで使われる楽器(弦楽器、金管楽器、木管楽器など)や日本の伝統的な楽器(こと、尺八など)、外国の伝統的な楽器などについて、音色の特徴や演奏のよさを味わうことができます。ぜひ、いろいろな楽器の演奏を楽しんだり、聴いたりしながら、それぞれの楽器の魅力をたくさん感じてください。また、1人1台端末を活用して、学んだ内容について追求したり、どんな楽器があるのか調べてみたりするのも、音楽の楽しさを味わい、豊かに関わる機会になると思います。

いただいたご意見:学びのこと(家庭科)

【小学校】

- ・たくさんの料理を学んでみたいです。
- ・小学生が簡単にできる料理などをもっと増やしてほしいなと思った。

【中学校】

- ・調理実習をたくさんしたいです。
- ・料理系の授業をもっと増やして欲しいです。

【高等学校】

- ・調理についてもっと知りたい。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○小学校の家庭科では、ゆでたり、いためたりする調理やご飯の炊き方やみそ汁の調理について学習をします。学習を通して、調理に関する基本的な知識や技能を身に付けて、おいしく食べるために手順を考えたり、調理の工夫をしたりすることができるようになることをねらいにしています。できることが増えると、いろんな料理にもチャレンジできるようになりますね。

○中学校では、小学校での学習を生かして、日常の1食分の献立を手順を考えながら調理できるようになるよう学習をします。「中学生に必要な栄養を満たす食事」の学習も生かしながら、栄養バランスのよい1食分の献立等を考えてみてください。学んだことを生かして、お弁当作りや食事づくりなどに取り組んでみるのも、料理をする機会につながると思います。

○小学校・中学校では、授業時間が決まっているので、学校で調理をする時間や機会は限られています。ぜひ、学んだことをおうちでも生かしてみてください。また、高校でも家庭科で調理について学ぶ時間がありますし、より詳しく学ぶことができる学校もあります。料理や調理の勉強をもっとしたいと思ったら、自分の学びを深めるために挑戦してみることもすばらしいことです。

○高校では、家庭科の専門科目の中で調理に関する科目がいくつかあり、調理についてより詳しく学ぶことができます。通っている高校に家庭科の専門科目がない場合は、学校家庭クラブの活動として調理講習会等を提案する、総合的な探究の時間で調理について探究活動を行う、様々なクッキングコンテスト等に応募する等の方法があります。

いずれの場合でも、活動する中で調理についての知識が深まりますので、ぜひ積極的に取り組んでみてください。

担当:学校教育室 義務教育担当、高校教育担当

いただいたご意見:学びのこと(プログラミング教育)

【小学校】

- ・プログラミングをやってみたい
- ・プログラミング学習をもっとしたいと思います。

【中学校】

- ・技術の授業で、本格的なプログラミングをやってみたい。
- ・機械について学びたいです。なぜなら、これからの時代、機械に触れることが多くなるからです。そのために、プログラミングなどの機械に関連した授業をもっと活発にやったほうが良いと思います。また、プログラミングで機械を動かす学習もやってみたいです。

【高等学校】

- ・自分が興味のある分野が情報系のプログラミングなので、授業などでもう少しプログラミングの実践の基礎を教えて欲しいです。
- ・eスポーツをやってみたいです。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○新しく始まった小学校のプログラミング学習は、物事を論理的に考える「プログラミング的な考え方」を身に付けることを目的としています。

○中学校のプログラミング学習は、技術・家庭科の技術分野の中で行います。コードのブロックを並べてプログラムを作るビジュアルプログラミングなど、わかりやすく手軽な方法が取り入れられています。小学校でも中学校でもこれからプログラミング学習がふえてきますので、積極的に取り組んでみましょう。

○県内でも、コンテストや体験教室など、学習以外で専門的に学んだり体験したりする場が増えています。ぜひ、積極的にチャレンジし、自分の可能性を広げてみてください。

○プログラミングは自分の思い通りにコンピュータに命令を与えることができる創造的で面白い活動です。高校生になると「情報」という教科でプログラミングを基礎から学びます。

○誰でも楽しむことができるeスポーツは、今後ますます多くの人が参加することが予想されます。シューティングゲームやスポーツゲームなどがあり世界中の人と対戦することもできます。自分に合った種目を探してみましょう。

担当:学校教育室 義務教育担当、高校教育担当

いただいたご意見:学びのこと(専門科目)

【小学校】

- ・物をつくることを学びたい。
- ・車を作ってみたい。

【中学校】

- ・建築の勉強したい。

【高等学校】

- ・電気系の知識を学んでみたい。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

- 岩手県には、農業、工業、商業、水産、家庭、福祉を専門的に学べる専門学科を持つ県立高校や、自分の興味関心に合わせて系列を選択できる県立総合学科高校が合わせて30校ほどあります。
- 各高校の学びや取組などの特色や魅力は「ハイスクールガイド」やウェブ配信サイト「note」で紹介していますのでぜひご覧ください。
- また、各企業のホームページでは分かり易く仕事内容を解説しているところもあります。
- 1人1台端末等を使い、興味・関心のあることについて調べたり、まとめたことを発信したりしながら自分の将来について考えを深めていってください。

いただいたご意見:学びのこと(特別支援教育)

【小学校】

・普通授業を学びたい。

【高等学校】

- ・支援学校は生単や日生がある代わりに、理科、社会の時間がありません。今現在、支援学校から一般就労をする子が多くいるのにも関わらず、健常児の子たちが理科や社会の単元で学ぶような常識を知らないのはなんだか恥ずかしいです。文部科学省が定める時間割にそれが組み込まれていないと言われたらそれまでですが、私はそういう普通の子たちが知っている常識をもう少し学校で学びたいです。
- ・もっと色んな人が自分が本当に行きたい学校や進路に行けるようアシストしてほしい。学区で学校を決めるのではなく本人や親御さんの希望で行く学校を決めるようにしてほしい。それと特別支援教育のやり方に違和感を覚えている 生徒に進路を強制したり他と違う教育をするのは違うのでは。当事者からすると一般就労の行き先や大学進学など進路が狭い気がする。希望者だけで良いので進学もサポートしてほしい。
- ・医療的ケア、重心障害児者の受け入れ施設が少なく、進路先が無くて困っています。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○多くの特別支援学校では、時間割には「生活単元学習」や「作業学習」、「日常生活の指導」などが入っています。今の学校生活や卒業したあとの生活がよりよいものになることを願って各学校で目標や内容を決めてすすめています。

社会や理科などの内容を入れながら、興味・関心やこれまで学んできたこと、経験したことを十分に考えながら、生きる力につながるような授業づくりに取り組んでいきます。

○進路については、本人や家族の考えを学校と確認しながら進めることが大切であるととらえています。話し合いや相談をくり返ししながら、可能な範囲で、希望する進路が実現できるよう取り組んでいきます。

○次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においては、「皆さんの興味関心などを踏まえた学習指導の計画を策定すること」、「皆さんのニーズに対応した進路指導や支援を行うこと」などを盛り込み、これからも、皆さん一人ひとりに寄り添った支援に取り組んでいきます。

○医療的ケア、重心障がい児者の受け入れ施設が少ないことは理解しています。施設の受け入れ等については、今後も関係機関と情報を確認しながら進めていきます。

担当:学校教育室 特別支援教育担当

いただいたご意見:学びのこと(地域探究)

【小学校】

- ・東日本大震災などの被害のことや他の災害について学びたい。
- ・私が住む地域の現状などを学んでみたいです。

【中学校】

- ・もっと、生徒と地域の方々との交流や、地域の行事が増えたら嬉しいです。また、地域の人との交流が増えるといいなと思います。
- ・森や海などの自然が多い。なので、それを活かした地域おこしの取り組みを考えてみたい。

【高等学校】

- ・地域に住む人が暮らしやすくなるために何をすべきか学びたい。
- ・他県の若い人が働きたいと思えるような場所にする方法を考えたり、メディアを活用した地域の魅力発信をしたい。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○岩手県は自然に恵まれた環境にあります。その一方で、これまで何度も自然の驚異にさらされてきました。12年前に起きた東日本大震災津波もその一つです。

○しかし、私たちは東日本大震災津波の教訓から命の大切さ、自分の存在、心身の健康、人や地域とのつながり、自然との共生、社会への参画、防災や安全など多くのことを再認識できました。

○このことをもとに、岩手県のすべての公立学校では「いわての復興教育」を推進しています。

○その中には、自分自身や地域の将来を考える学習も含まれています。

○ぜひ、みなさんの学校で行われている「いわての復興教育」などを通して、地域の魅力を全国や海外に発信できる力を身に付けて欲しいと思います。

担当:学校教育室 産業・復興教育担当

いただいたご意見:学びのこと(体験学習)

【小学校】

- ・たいけんにいきたい。
- ・色々なことを体験出来る授業を作ったほうがいい。

【中学校】

- ・これまでは、コロナウイルスで県外に行くことや見学などの制限がされ、なかなか行きたいと思うところなどに行けなかったので、コロナが5類になった今年こそは、いろいろな場所に行き、実際に見て学習したいです。
- ・社会科見学をしてほしい。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

- 新型コロナウイルス感染症の影響で行えなかったいろいろな体験学習も徐々に行えるようになってきました。
- 自分の将来を考え、自分で進路を選ぶことができる力を身に付けるためには、体験学習等の充実が大切です。
- みなさんにはぜひ学校や地域で行われる様々な活動に積極的に参加して、多くの友達や地域の方と交流し、自分の考えを深める経験をして欲しいと思います。
- 体験活動に参加した後は、一緒に体験した人たちと感想などを共有して、次の学びの参考としてください。

いただいたご意見:学びのこと(個別最適な学び)

【小学校】

・教科書にのっているところだけではなくすこしむずかしいのもやってみたい。

【中学校】

・中学校で学習する内容以外に、自分から進んで疑問に思ったことを調べられるようになったらいいと思う。
・できれば、だれ一人取り残すことなく、どの人にとってもわかりやすく、テスト範囲などに余裕をもって間に合うような計画的な授業がいいと思う。

【高等学校】

・中学校で学習する内容以外に、自分から進んで疑問に思ったことを調べられるようになったらいいと思う。
・できれば、だれ一人取り残すことなく、どの人にとってもわかりやすく、テスト範囲などに余裕をもって間に合うような計画的な授業がいいと思う。
・中学校、高校において授業は学力別にクラス編成をし、個々の学習能力を伸ばしてほしい。例えば、中学校では学力別となると角がたつので志望校別にクラス分けをして授業をする。普通科のある高校では文系、理系だけでなく難関大コースや特進クラスなどを設ける。限られている授業時間内に効率よく学習できる環境にしてほしい。教師にやる気がある人・ない人がいるので、教師にも目標点数をかがげてもらい授業に取り組んでもらう。
・もっと長く授業を受けれるようにしたいです。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○みなさん一人ひとりに素晴らしい個性があり、好きなこと、得意なことは人それぞれ違います。これは学習においても同じで、適した学習方法なども違って当たり前です。他の人と同じ方法が、自分にも合っているとは限りません。そこで、自分に合った学習の積み重ねをしていくために、自分の学習の状況をとらえ、自分に必要な学習を計画し実行する力が大切です。

自信がないところや、わからなかったところはそのままにせず、「前に学習したことを復習しておいた方がよいな」とか、「応用問題にも挑戦してみたいな」と思ったら、先生や友達に聞いてみたり、1人1台端末のAIドリル等も活用して、家庭学習で取り組んでみましょう。

また、自分の興味・関心に合わせて、例えば「もっと深く歴史を調べてみたい」という場合も、端末を活用することができます。学びの場は、工夫次第でいろいろなところにあり、学びの可能性は無限大です。みなさんに配付されている1人1台端末はそのためのツールですから、どんどん活用していきましょう。

○各県立高校では、全生徒が受けなければいけない授業の他に、生徒の興味・関心や進路希望等に応じて、選択して受ける授業を設けていて、生徒が希望する進路を実現できるように、学力の向上を図っています。

担当:学校教育室 義務教育担当、高校教育担当

いただいたご意見:学びのこと(協働的な学び)

【小学校】

・子供だけで進めるじゅぎょうがほしい。

【中学校】

・グループで意見交流をする時間をたくさん作るなどのグループワークをもっと充実させたいと思います。

・授業は楽しく、学習にも興味があります。もっと、自分の意見を伝えられる機会が増えるといいなど感じるし、周りとの交流も楽しいので、もっと増やしてほしいです。

・今はあまり自分が興味のあることについて学校または地域として共有できるような場がないので、興味があって調べていることや、そこから考えた事など、発表したり共有できるような環境があればと思います。

【高等学校】

・国語や英語などにあるディベートの授業数を増やして欲しい。

・もっと能動的に学べる授業が良い。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○みなさんが生きていくこれからの未来社会を創っていくためには、他者と話し合ったり、協力し合ったりして問題を解決する力が重要だと言われています。学校の授業は、このような力を身に付けるための大切な場です。学校では、1人で問題を解くだけではなく、自分の考えを友達に説明したり、友達の考えを聞いて理解し、よりよい考えを導いたりすることを重視して授業づくりを行っています。

また、世の中には、環境問題など、複雑で「答えのない問題」がたくさんあります。このような問題に対して、みんなで話し合い、最善だと多くの人が納得できるような「答え」を導き出していくことが求められていきます。人の考えや価値観は様々ですが、お互いにその多様性を認め合い、尊重し合いながら、話し合いによって解決する力が、未来の社会を創っていく力となります。

○みなさんに配付されている1人1台端末は、これからの時代の新しい文房具と言われています。インターネットに接続すれば、膨大なデータにすぐにアクセスすることができます。興味・関心があることを深く調べたり、調べて分かったことをまとめ、発信したりする活動にぜひ活用してください。

担当:学校教育室 義務教育担当、高校教育担当

いただいたご意見:タブレットを使いたい!もっと使って!

【小学校】

- ・タブレットを家に持ち帰って家で学習したいので家にタブレットを持ち帰っていいことにしてほしいです
- ・タブレットを授業以外の学習をするために家にもちかえられるようにしてほしいです

【中学校】

- ・集団教育の良さと個別教育の良さをどちらも取り入れると良いと思う。また、そのためにICTをすると良いと思う。
- ・パソコンを取り入れた授業が増え、より深い学びができるようになった一方で、スムーズにいかないこともあるので、それぞれの良さを生かした取り入れ方が大切だと思います。

【高等学校】

- ・個人の端末をもっと授業に活用すべき。アンケートを取る、連絡手段として使う、調べ物をするだけではなく、端末でしかできない意見交流の仕方をする、授業中に端末を使うことによってプリントを無くすことがない、回収の手間が減る、家でも課題に取り組み、提出できるとメリットが大きいと思う。
- ・進路実現のための課外授業をより充実したものにするためにICTの活用を進めて欲しい。特に1人1台のChromebookなどがまだ徹底されていない。改善して欲しい。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○これからの学校では、どんな道具を使い、何をどれだけ学ぶか児童生徒一人一人が選んで学びを進めること(個別最適な学び)、みんなが考えを共有しそれをまとめていくことで学びを深めていくこと(協働的な学び)をいっそう進めていくために、パソコンなどのICTを効果的に活用していくことが大事だと考えています。

○現在、ネットワークなどの環境が整備され、学校ではタブレットやパソコンなどの端末を使うことができるようになりました。また、多くの地域や学校で、タブレットを持ち帰って学習することができるようになり、調べ学習などの宿題も、これからどんどん取り入れていく学校が多いと思います。

○これからの時代、タブレットやパソコンを文房具として活用することが求められてきます。次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においても、「どの学校でもタブレットなどを授業や家庭で積極的に活用すること」、「ICTを活用した先生の指導力の向上を図ること」などを盛り込み、みなさんの学習がさらによくなるよう取り組んでいきます。

○皆さんも、ぜひ、宿題のためだけの活用ではなく、自分で興味・関心をもった学習内容についてより深く調べたり、調べた内容をまとめたりするなど、主体的にタブレットを活用し、自分の学びを深めていきましょう。

担当:教育企画室 学校教育情報化担当
学校教育室 義務教育担当、
高校教育担当

いただいたご意見:家庭学習、宿題のこと

【小学校】

- ・自分の将来なりたい職業に繋がる授業を習ってみたい。また、このPCを使った学習、家庭学習も広めて行って欲しい。
- ・宿題など、家での学習を、一人一人に合わせた量にするなど、調節できるようにして欲しいです。

【中学校】

- ・教育が都会と離れているので、宿題の数を増やすなどして工夫をしてほしい。
- ・自分の家庭学習をもっと有意義なものにするにはどうすればいいか悩んでいる。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○学校では、授業で学んだ内容を確実に身に付けてもらうために、先生方が必要な内容を考え、宿題としてみなさんに課題を出しています。しかし、学習の状況は一人ひとり異なるため、全員一律の課題では、必ずしも自分にとって最適な内容となっていないと思うことがみなさんもあるかもしれません。

○そこで、自分で家庭学習の内容を考え、計画的に実行する力を身に付けていくことが大切だと言われています。苦手な教科は復習に力を入れたり、得意な教科は発展的な問題に挑戦したり、自分でテーマを設定して追究したりするなど、先生方のアドバイスをもらいながら、自分に必要な学習を自分で考えることで、やる気も高まります。

1人1台端末は、そのためのとても有効なツールですので、家庭学習でも積極的に活用してください。

○次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においても、「家庭学習の充実」について盛り込み、みなさんが自分で家庭学習の内容を考え、計画的に実行する力を身に付けられるよう取り組んでいきます。

担当:学校教育室 義務教育担当

いただいたご意見:先生のこと

【小学校】

・私は先生について意見があります。先生にも一人一人個性があります。そして、ゆるい先生と、厳しい先生がいて、1クラス違うだけでもルールがまるっきり違うことがあります。不公平なのでどうにかして欲しいです。

【中学校】

- ・生徒の意見をできるだけ聞いてほしい
- ・数学の先生なのですが面白い問題を持ってきてくれるのもっと増やしてほしいです。
- ・日本の英語教師の英語力の向上と、指導の仕方を海外のように実用性を考えたやり方にしてほしい。

【高等学校】

- ・生徒に仕事としては無く人として親身になって話を聞いてくれる先生が増えたら良いと思う。
- ・色々先生が怖いなって思うことが多くて話しかけられない。それがあってたまに学校行くのが辛くなったりする事があります。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○岩手県では、互いの人権や多様性を認め合う道徳教育や人権教育の充実を目指しています。

次期「岩手県教育振興計画(仮称)」でも、「先生が子どもの人権を尊重し、多様性を包摂する視点をもつこと」、そして、「児童生徒一人ひとりの可能性を伸ばす教育を行うこと」を大切にしているので、より一層、先生が子供の人権について理解するための学びを深めていきます。

○岩手県では、それぞれの先生が、先生としての経験年数などに応じて身に付けて欲しい知識や技能をまとめた「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」(先生としての目標)を作っています。この指標(目標)に沿って、それぞれの先生が、様々な研修(勉強)をしながら、知識や技能を高めるための学びを重ねていけるように努めていきます。

次期「岩手県教育振興計画(仮称)」でも、「先生の能力向上のための研修を充実すること」としているので、これからも、みなさんに信頼される先生であり続けられるように取り組んでいきます。

「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」



担当:学校教育室 義務教育担当、高校教育担当
教職員課 組織人事担当

いただいたご意見:学校行事のこと

【小学校】

- ・学年関係なく仲良くしたい
- ・通っている学校の人たちだけでなく他の学校の人たちとも関わって仲良くなりしたい。

【中学校】

- ・学校内だとあまり他クラスや他学年などとの交流がきっかけがないと交流し合うことができないから、いろんな行事などで交流し合う機会を増やしたい。又、他学校との交流も盛んにしてよりいろんな人の意見を学びたいと思いました。
- ・他の中学校との交流で、自分たちとは違う意見も聞けていいと思う。

【高等学校】

- ・高校だけの学校行事だけではなくて、地域の小学生や中学生と交流できる行事もつくったら楽しそうだと思います。
- ・他の高校の生徒と交流したいです。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○楽しく豊かな学級や学校の文化をつくっていくことができるように、学校行事を計画するときには、みなさんが仲間や先生方、地域の方など様々な人と関わって、みなさんの手でつくり上げることを大事にしています。

また、その中で、みなさんが自分のよさを感じることができるようにも大事にしています。行事に向けた話合いのときには、このような意見を積極的に出してほしいと思います。

○1人1台端末が導入されたことにより、学校同士で連絡を取り合い、県外の学校や外国の学校との交流活動を実施する例も見られるようになりました。みなさんの学校でも実現できるように、アイデアを出してみたいでしょうか。

○学年などに関係なく交流ができる場として、地域で開催している行事に参加することも考えられます。こういった行事などに参加することで、仲間とのつながりが深まり、地域のよいところをもっと知ることができると思います。

いただいたご意見:校則や学校の決まりのこと

【小学校】

・男子でもスカート、女子でもズボンを履けるようにしてほしい。

【中学校】

・暑いので7月に入ったらすぐジャージ登校できるようにしてほしい。汗がたくさん出て気持ち悪い。

・登下校で夏は全部ジャージ登下校になったらいい

・季節によっての制服の着用が大変です。例えば夏の暑い日に登校するとき、夏服とはいえ気温が高すぎて制服での登校はきついでジャージでの登校を提案したいです。

【高等学校】

・服装や髪型の基準が面接などに合わせて設定されているのはいいと思うが今の時代に合わせた校則でもいいと思いました

・校則の見直しが必要だと思う。ジェンダーレスに対応することやタブレット、パソコンを使用で紙の削減など

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○現在、性の多様性を尊重する観点等から、制服を選択制にする学校が増え始めています。今後、そのような動きがより一層活発になると思います。

○地球温暖化の影響で、夏は特に、朝夕も含めて暑さが厳しい日が多く、学校での生活も大変だったと思います。

みなさんが熱中症にならないように、学校では、国のガイドラインに沿って、その日の天候によって部活動なしなどの判断をしています。

今後、暑さに関するみなさんのとらえが判断の参考になるように、働きかけていきます。

○校則や校内の決まりは、児童生徒のみなさんが健全な学校生活を送り、よりよく成長していくためにあるもので、児童生徒のみなさんの自主性を伸ばすようなものであることが大切です。

○次期「岩手県教育振興計画(仮称)」において、「各学校で校則などの見直しを行うこと」などを盛り込んでいます。校則や校内の決まりについて、みなさんの意見を尊重しながら、必要な見直しを行われるよう各学校に働きかけていきます。

いただいたご意見:部活動・クラブ活動のこと(スポーツ活動)

【小学校】

- ・サッカーを学びたいです / バスケットで勝てるようになりたい
- ・色々なスポーツを経験して自分が好きだと思ったりやってみたいと思ったことに挑戦したいから

【中学校】

- ・テニスをやる人が増えればいいと思う。 / バレー部で中総体に出てみたい。
- ・どうしたら上手くできるようになるか。

【高等学校】

- ・甲子園に行きたい / インターハイに行きたい

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○岩手県では、中学校の顧問の先生に代わり、専門的な知識や技能を持っている方が部活動を指導する部活動指導員を配置する事業を行っています。

○また、少子化の中でも、将来にわたり、みなさんがスポーツ・芸術活動を親しむことができるよう、学校、保護者、地域や関係団体の皆さんが目指す目標となる「岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針」を策定することになっています。

○自分の打ち込む運動やスポーツに取り組む人たちを増やしたいと願う気持ちは大変素晴らしいことです。その思いを伝えるために、「何を」「どんなふうに」発信するか考えてみるのも、自分自身の表現力や発信力に磨きをかけることにつながります。みんなが喜ぶように、運動やスポーツの楽しさや魅力を伝える方法を考えてみてください。

○自分の打ち込む運動やスポーツのレベルを上げたいと思うことは、打ち込めば打ち込むほどに湧き上がってくる意欲だと思います。自分が実現したいプレーや記録をイメージし、どうしたらそのプレーや演技ができるようになるのか、記録を達成できるのか、自分で調べたり、仲間と情報交換したりしながら練習の仕方を工夫してみるのも、一つの方法です。教わるだけでなく、自分で考えて練習に取り組むことで、さらに運動やスポーツの特性や魅力を知るきっかけになります。

担当:保健体育課 学校体育担当

いただいたご意見:部活動・クラブ活動のこと(文化活動)

- 【小学校】
 - ・学校のクラブは、調理実習など実技をいっぱいやりたいです。
 - ・漫画家に会って、絵のかき方を勉強したいです。
- 【中学校】
 - ・部活動でたくさんきれいな音色を響かせていきたい。
 - ・吹奏楽部全員の自分が持っている技術を更に向上させ、完成度、満足度の高いものにする方法をプロの方へ聞くレッスンの機会が欲しい。
- 【高等学校】
 - ・もっと部活をしていい成績を収めたい。全国総文にも行けたら行ってみたい
 - ・部活動で他のスポーツと同様にeSportsをやってみたい

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○小学校のクラブ活動では、異なる学年の友達と協力して、活動計画を立て、役割を分担し、協力して運営することが大切です。そのために話し合いをしてクラブの意見をまとめたり、決めたことに協力して取り組む必要があります。クラブ活動の時間の中で、創意工夫を生かしながら、やってみたいことの実現に向けて取り組んでみてください。

○部活動で「音色を響かせたい」「上手になりたい」という思いをもつことは、声や楽器の特徴を生かしながら、皆で心を一つにして演奏することの楽しさやハーモニーの美しさを味わうことにつながります。ぜひ、音楽表現をする時は、音楽の授業の学びを生かして、音楽を形づくっている要素(音色、リズム、強弱、旋律など)を手がかりに、曲にふさわしい表現を創意工夫してみてください。その際、「こんな〇〇にしたい」という思いや意図を表現するために必要な技能を身に付けられるよう取り組んでみてください。

○次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においても、「文化部の生徒を対象とした技能講習会、文化芸術活動に関する講習会や発表の機会を支援すること」を盛り込んでいます。

具体的には県内の高校の同じ部活動の生徒が集まる技術講習会が実施され、活動の成果を発表する場として、県高等学校総合文化祭が開催されています。

また、高等学校の文化部では、セミナーサポート事業というものがあります。例えば吹奏楽部では、セミナーサポート事業として、専門家の方から曲の分析・解説、演奏の指導を受ける等の機会を設定しています。そうした機会を生かしながら、表現力の向上につなげてみてください。

担当:学校教育室 義務教育担当、高校教育担当

いただいたご意見:部活動・クラブ活動のこと(活動時間)

【小学校】

- ・クラブの時間をふやしてほしい
- ・習い事などもあるのでクラブの参加を自由にして欲しい

【中学校】

- ・もう少し部活動時間が増えたらいいと思いました
- ・ほぼ強制なのに、きつい練習をさせたり試合に出したりするのはよくないと思う。強制にするなら、ある程度の自由が認められるべき。

【高等学校】

- ・毎日部活がやりたい
- ・部活動に関して、選択の際に部活動をしないという選択をできるようにして欲しい

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○部活動は、県の方針において「生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであり、参加を義務付けたり、活動を強制したりしない」としています。全ての学校で共通理解のもと部活動が行われるよう、周知を徹底していきます。

○部活動の休養日や活動時間については、スポーツ医・科学の観点から、心身の疲労回復、ケガや故障の予防などを考慮したことに加え、部活動以外の様々な活動に参加する機会が必要なことから、基準を示しています。

○次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においても、「部活動は皆さんの自主的・自発的な参加により行われること」、「適切な部活動の設定や過度の練習を強いることがないようにすること」などを盛り込み、皆さんにとって、有意義なスポーツ・文化活動となるよう取り組んでいきます。

〈岩手県の部活動休養日及び活動時間の基準〉

【中学校】

- 週当たり2日以上(平日1日以上、週末1日以上)の休養日を設ける。
- 1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とする。

【高等学校】

- 週1日以上(以上の休養日を徹底しながら、年間平均で週当たり2日以上)の休養日の設定に努める。
- 1日の活動時間は、学校の特色及び種目等を考慮し、各学校において適切に設定する。

担当:【運動部】保健体育課 学校体育担当
【文化部】学校教育室 義務教育担当、高校教育担当

いただいたご意見:部活動・クラブ活動のこと(地域クラブ活動への移行など)

【小学校】

- ・もっと他のチームとの交流の機会が増えたらいいなと思う。
- ・学校で、1つのチームがいいと思う!

【中学校】

- ・もっと他校と一緒に練習する機会をつくると、学べたり交流できるからいいと思う。
- ・休日の部活動も、顧問の先生主導で行って欲しい。親が主導になる部活動にこれからの予定なら、行きたくない。親が怖い。
- ・部活動自体がなくなってしまうかもしれないことが心配しています。出来ればなくさないで欲しいです。

【高等学校】

- ・今は少子高齢化で部活動に所属する子どもたちが減少しています。そのため、部員の募集停止をせざるえない状況になっています。そこで、伝統ある部活の存続や入りたかった部活がなくなって夢を失ってしまう子が出ないように取り組みをすることが必要だと考えます。
- ・人数が少なくなってきた、大会に出るにも人数を集めないといけない状態なので、担い手不足を改善する。
- ・小規模中学校で選択できる部活の種類が少なかったのが残念だったので、選択肢が増えるとよいと思う。

県(教委)の対応状況

【文化スポーツ部・教育委員会】

○地域や学校によっては、生徒数の減少などにより、これまでどおりの体制で学校部活動を続けることが難しい状況にあり、合同部活動や地域クラブチームなどで活動している事例も見られます。

○県中総体ではすでに複数校合同チームでも参加することができます。また、令和5年度からは一定の条件を満たす学校外の地域クラブチーム等の参加が認められています。

県高校総体でも、一部の種目で複数校合同チームでも参加することができます。

○岩手県では、少子化の中でも、将来にわたり、みなさんがスポーツ・芸術活動に親しむことができるよう、学校、地域や関係団体の皆さんが目指す目標となる「岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針」を策定することにしています。

○これからも、県では、地域の事情やニーズに応じた多様な活動ができるよう、学校部活動の適正な運営や地域クラブ活動への円滑な移行に向けて取り組んでいきます。

担当:【スポーツ活動】スポーツ振興課 生涯スポーツ担当 保健体育課 学校体育担当
【文化芸術活動】文化振興課 文化芸術担当 学校教育室 義務教育担当、高校教育担当

いただいたご意見:部活動・クラブ活動のこと(指導のことなど)

【中学校】

- ・部活の先生が怖いです
- ・生徒だけの練習ではなくて、もう少し先生からアドバイスをもらえる機会を増やしてほしい。

【高等学校】

- ・安全に部活に取り組みたいので暑い日の部活動の取り組み方を検討していただきたいと思います。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○学校部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により行われ、スポーツや芸術文化等に親しむとともに、学習意欲の向上や責任感、連帯感を育むための活動ですので、生徒の自主性や個性を尊重した指導を行うことが必要であり、体罰・暴言等は決して許されないことです。

県では、継続して体罰・暴言など根絶するため、指導者の資質や能力向上のための研修に取り組み、対話を重視した指導を広めていきます。

○熱中症防止のために、学校では暑い日は各種活動の中止をすること、こまめに水分補給をさせること、衣類での調整をさせることなどの対応をお願いしています。

○次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においても、「部活動指導者による暴力や暴言及びセクシャル・ハラスメント等の根絶」などを盛り込み、皆さんの部活動を指導する顧問や部活動指導員に対して、効果的・実践的な指導者研修を行うこととしています。

〈適切な指導の実施〉

○校長及び部顧問は、部活動の実施に当たっては、生徒の心身の健康管理、事故防止及び体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。

○県教育委員会及び学校の設置者は、学校におけるこれらの取組が徹底されるよう、学校保健安全法等も踏まえ、適宜、支援及び指導・是正を行う。

〈部活動中の熱中症事故の防止等〉

○校長及び部顧問は、部活動の実施に当たっては、生徒の健康状態の把握に努めるとともに気象情報等に留意し、適切に対応すること。

担当：【運動部】保健体育課 学校体育担当
【文化部】学校教育室 義務教育担当、高校教育担当

いただいたご意見:勉強との両立のこと

【中学校】

- ・勉強や部活は常に意識して生活してるけど、好きなことをしてリカバリーする方法をしりたい。
- ・部活動の練習方法やべんきょうとの両立の仕方。
- ・全国大会などの上位大会へ進んだ際の手当。テストが受けられなくなったり、授業に遅れたりする。仕方がないことなのでしょうか。
- ・趣味と勉強を両立したい。

【高等学校】

- ・勉強と部活動の両立ができるように、どちらかにかける時間が極端になってしまわないようになって欲しいです。自分としても、両立できるようにしていきたい。

県(教委)からのコメント

【教育委員会】

○部活動は、「学校教育の一環として教育課程との関連を図り、生徒の自主的・自発的な参加により行われるもの」とされており、学校では、加入のあり方の見直しや、地域と連携した活動などの検討が行われています。

部活動は、仲間と共にスポーツや文化芸術活動の楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を経験できる場です。活動に取り組む分、他の自分がやりたいこととの時間の使い方などを工夫していく必要がありますが、自分で時間の使い方の計画を立て、粘り強く取り組む力を育むことは、将来にも役立つ力となるはずです。

○これからの社会が大きく変化していく中で、児童生徒のみなさんには、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現し、明るい未来を共に創ってもらいたいと考えています。そのために、様々な活動や体験を通して豊かな人間性が育まれることは有意義なことだと思いますので、学校での学習も大事にしながら取り組んでいってもらいたいと思います。

いただいたご意見:友達・友人関係のこと

【小学校】

- ・友達との距離をどうやったら縮められるかや、どうやったら友情関係がよくなるかを学び、友達との関係がとてよくなりたと思っています。
- ・友達の付き合い方。昨日まで友達と言っていた、次の日には悪口を言われて、無視されたり、リーダー的な子に従わないと無視されたり、悪口を言われたり、いけないと分かっているけど嫌われたくなくて付き合っていたり難しいです。そうなったときの対応の仕方や助言など知りたいです。
- ・友達との適切な距離感、関わり方、喧嘩しないようにどの様な関わり方が必要なのか、もし喧嘩してしまった場合は、どのようにするのが一番納得できる終わり方に出きるのか、つまり、皆との関わり方のことについて学習、実践したいです

【中学校】

- ・友達と上手にかかわるために必要なことや、大切なことを学びたい。
- ・人間関係はいつまでも、必要とされている事だから、どのようなことをすれば人間関係が上手くいくのかを考えて、人間関係で悩んでいる人に教えてあげたいです。

【高等学校】

- ・友人関係を良くする方法や、関わり方などを知りたい。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○県教育委員会では、全ての児童生徒が安心して学校生活を過ごすことができるよう、先生方が授業や行事の中で、自己存在感や充実感を感じられる心の居場所を提供したり、全ての児童生徒が主体的・共同的に取り組む絆づくりの場を保障したりすることを各学校に呼びかけています。

例えば、授業でお互いの考えを伝え合うような学び合いの時間を確保したり、授業や行事のまとめとして友達から学んだことやお互いのよさ等を振り返ったり伝えたりする場面を作ったりすることです。

○また、県教育委員会では、互いのよさや可能性を認め合う活動や人権教育の充実を目指しており、先生方が子どもの人権について理解を深める研修機会の充実などに取り組んでいます。

いただいたご意見:いじめへの対応のこと

【小学校】

- ・いじめがおきたらいじめた人といじめられた人のクラスを分けて欲しいです(学年の途中でも)。
- ・いじめを減らす取り組みを、少しずつ減らせる様に、努力して欲しいです。

【中学校】

- ・いじめについての講話を増やしてほしい
- ・いじめをなくそうではなく、隠さず報告することを目標にしたほうがいいと思う。

【高等学校】

- ・いじめのない学校にはできないのか。
- ・身の回りで悪口などが酷いので、言われてる本人もですが、本人じゃない人から聞いても不快なのでやめて欲しい。人に好き嫌いがあるのは当たり前だけど、それを学校などの公の場で言わないで欲しい。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

○各学校では、「いじめは人間として絶対に許されない」との意識を学校教育全体を通じて児童生徒一人ひとりに徹底するとともに、先生方が授業や行事の中で、自己存在感や充実感を感じられる心の居場所を提供したり、児童生徒が主体的・共同的に取り組む絆づくりの場を保障したりすることで、全ての児童生徒が安心して過ごせるよう、いじめが起きにくい学校・学級づくりに取り組んでいます。

○岩手県教育委員会では、児童生徒がいじめ防止のために主体的に取り組んだ好事例を各学校に紹介するなどしていじめの未然防止に努めています。また、いじめについては、初期段階のものも含めて積極的に認知して報告するように学校に呼びかけています。

各学校では、いじめられた児童生徒の気持ちを聴き取り、いじめられた児童生徒に寄り添い対応してきました。引き続き、いじめられた児童生徒の気持ちを尊重しながら対応していきたいと思えます。

○また、互いのよさや可能性を認め合う活動や人権教育の充実を目指しており、先生方が子どもの人権について理解を深める研修機会の充実などに取り組んでいます。

○次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においても、「いじめ防止対策やいじめ事案への適切な対応に取り組むこと」などを盛り込み、皆さんが安心して学校生活を送ることができるよう取り組んでいきます。

担当:学校教育室 生徒指導担当

いただいたご意見:奨学金のこと

【中学校】

- ・奨学金制度について知りたい

【高等学校】

- ・進学先や奨学金の制度などについて詳しく知りたい
- ・奨学金についてもっと前から詳しく学校で教えて欲しかった。3年生になってから急に渡されても困る。
- ・大学進学のためのお金の支援を充実させてほしい
- ・行きたい県外の専門学校があって、経済面的に苦しいのが何とかしてほしい。その専門学校の授業が他の学校にはない授業があって、受けたい。

県(教委)の対応状況

【教育委員会・ふるさと振興部】

○岩手県のホームページでは、高校又は専門学校への進学を目指す皆さんが経済的に安心して学校生活を送ることができるよう、高等学校等就学支援金、奨学給付金の給付など様々な給付・支援制度について紹介しています。

○各種団体の奨学金事業については、案内があった都度、県立学校や私立学校あて周知していますが、学校内での幅広い周知を促し、生徒一人一人に情報が行き届くように努めています。

○大学や専門学校の進学については、授業料等の減免と給付型の奨学金の支給という国の「高等教育の修学支援新制度」があります。また、県内就職等の一定の条件で返還を免除する県独自の奨学金もあります。

○大学等の進学に向けての勉強のための費用として、(公財)岩手育英奨学会では、令和5年度から、新たな奨学金(タイプD大学等進学支援)を新設し、大学、専門学校等への進学を希望する非課税世帯の高校2年生を対象に15万円を貸与することとしています。

○次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においては、「経済的な支援や奨学金制度の周知と適切な運用」などを盛り込み、様々な給付・支援制度が対象となる皆さんにいきわたるよう取り組んでいきます。

県立や私立の高等学校に通う生徒に対する給付制度について分かりやすく取りまとめました。各学校で進路相談などに使うほか、皆さんが探しやすいようにホームページでも公開しています。

是非見てみてください。

「県立高等学校に通う生徒に対する給付制度」

<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/ippan/koho/1068555.html>

「私立高等学校に通う生徒に対する給付制度」

<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/shigaku/1006754.html>

担当:【県立学校】 教育企画室 予算財務担当(授業料等)
総務担当(奨学給付金、タイプD奨学金)

【私立学校】 学事振興課 私学振興担当

【大学等】 学事振興課 学事企画担当(高等教育の修学支援新制度)

いただいたご意見:スポーツ施設を増やしてほしい!

【小学校】

- ・サッカーをもっといい場所でやりたいです。理由は将来サッカー選手になりたいからです。いい場所とはチップのある人工芝照明設備があって、4面コートがある場所です。
- ・岩手県には、スケートボードをする場所が、少ないので場所をつくってほしいです。ハーフパイプがほしいです。理由は、他の県よりスケートボードをする場所と、アイテムが少ないことから、他の県の人と、レベルに大きな差が出ています。パークがあることによって岩手県からスケートボードを好きになる人が増え、いつかは、オリンピック選手が出ることもあると思います。私達は、オリンピックを目標にして頑張っています。

【中学校】

- ・沿岸にパラスポーツ専用の練習する施設を作って欲しい。(特にフェンシングや陸上競技など)
- ・みんな使えるバスケットコートがあったらいいと思う

県(教委)からのコメント

【文化スポーツ部】

○現在、県営スポーツ施設は9つあり、県営運動公園内に照明設備がある人工芝のサッカー場が1面、バスケットコートがある体育館が2つあり、利用料金が必要になりますが、どなたでも使える施設です。

○県営以外の施設も含めて、県内のスポーツ施設は、「いわてスポーツコミッション」のサイト(<https://www.iwate-sc.jp/>)で紹介していますので、ご覧ください。

いただいたご意見:公園など遊べる場所を増やしてほしい!

【小学校】

- ・もっとたくさんの遊び場があったらいいです。
- ・学校以外でも、友達と、たくさん遊べたらいいと思う。

【中学校】

- ・小さい子が遊べるような公園などの施設が少ないし、あったとしても遊具が無く、あまり遊ぶことが出来ないのではないのでしょうか。もっと、公園などの施設を増やし、遊具を設置してみたいかたがどうでしょう?
- ・私が住んでいる地域に公園などが少なく、外に出て友達と遊べる場所がないため学校以外の場ではあまり交流がなくなってしまっている。そのため、公園などの施設が増えてほしいと感じている。

県(教委)の対応状況

【県土整備部】

○ 遊び場にはたくさんの種類があります。その1つの「公園」にも、「自然公園」「森林公園」「農村公園」「都市公園」など色々なものがあるので、そのうち、県土整備部が担当している公園についてお答えします。

○ 県土整備部では、その地域に住む人々だけでなく、遠くから訪れる人々にも利用されることを考えて、御所湖広域公園(盛岡市・雫石町)や花巻広域公園(花巻市)、高田松原津波復興祈念公園(陸前高田市)の3つの大きな県立都市公園を作っています。

このほかにも、県が管理を担当している河川や海岸などに、たくさんの公園を作っています。

皆さんの遊び場にもなる県土整備部が作った公園を知ってほしいので、県のホームページで紹介しています。

○ なお、街中にあるような身近な公園については、市町村が担当している場合が多いので、県では、皆さんが安心して安全に遊べる場所を用意するため、市町村が作る公園やそこに設置する遊具の更新等が適切に行われるよう、必要なアドバイス等をしていきます。

県ホームページで紹介している公園の例と県のホームページ



人口減少対策につながる取組事例集【子育て編】

岩手 子育て編



担当: 県土整備部
都市計画課 計画整備担当
県土整備企画室 企画担当

いただいたご意見:自転車の安全な通行について

【中学校】

・道路に自転車専用レーンを作って欲しいです。

【高等学校】

・私は学校まで駅から自転車で通学しておりますが通学路として利用している道路の状態が悪いと感じております。特に河川敷の道路は、穴が空いている箇所が多く自転車でつまづいて転倒し、怪我や自転車のパンクなどの支障が生じております。自分の他にも通っている人が多く自分と同じ意見を持った人が多いです。つきましては、ぜひ学校周辺の道路状況の調査及び修復工事をよろしく願いたく、意見させていただきます。

県(教委)の対応状況

【県土整備部】

○県では、児童・生徒の皆さんが、自転車を安全に、安心して利用できる社会の実現等に向け、令和3年3月に「岩手県自転車活用推進計画」を策定し、自転車通行空間等の整備を進めています。

この自転車の通行空間の整備については、矢羽根等の路面表示やカラー舗装など、その手法は様々あるので、引き続き、皆さんの意見をはじめ、市町村や関係機関と連携しながら、整備が計画的に進むよう、取り組んでいきます。

○また、道路の状態についてですが、国や県、市町村は、それぞれが管理する道路の定期的なパトロールを行い、どこか壊れてはいないか、凹凸はないか、といった風に損傷箇所を調べ、損傷箇所があれば補修していますが、パトロールのときは壊れていなくとも、その後に損傷した箇所を皆さんが通行している場合もあります。

そのため、通学などの際、道路の損傷を発見したときは、学校を通じてでも結構ですので、所管の広域振興局土木部・土木センターなどにお知らせください。

また、河川敷の道路には、その河川を管理している者が管理している道路も多くありますが、皆さんの安全を確保するため、まずは上記窓口に知らせてください。引き続き、皆さんが安全・安心して生活できるよう、取り組んでいきます。



担当: 県土整備部
道路環境課 企画担当
県土整備企画室 企画担当

いただいたご意見:地域の環境のこと、環境学習のこと

追加

【小学校】

- ・ゴミ拾いをしたときに、タバコやポリ袋がおおいのでポスターやごみを捨てる人がいないように取り組みをしてほしい。(自分も頑張ります!)
- ・学校に行くまでの道にゴミがあることが多いのでゴミ拾いなどをしてよりよい場所にしたいと思います。

【中学校】

- ・もっとエコ学習をしていきたい
 - ・気候変動や環境問題について、学校でも関心・理解を深めるため、環境学習会等の時間を設けたほうが良いと思います。
- それによって、生徒同士で話し合ったり、実際に実態を知ること、交流やこれからの未来について考えるきっかけになると思いました。環境に関わる職業をしている方を学校に呼び、講演をしていただいたり、生徒会や、委員会が中心となって、取組を考案・実践していくことで、第一歩につながると思います。
- ・未来の環境のために今私たちができることや、岩手県で行っていること。を学びたい。そして、今地球の環境について何か活動を行っている人の話を聞いてみたい、そして、プラスチックを減らして岩手の木を使った環境に優しい物を作る体験とか実際に少しでもいいから環境に自分の手で貢献する活動をしてこれから私たちが過ごす未来を少しでも良いものに未来の環境に対して子供のうちから少しでもみんなが勉強すれば良いと思います。

県(教委)からのコメント①

【環境生活部】

<地域の環境のこと>

○県では、「マナーを守り岩手の豊かな環境と資源を未来へ」のスローガンのもと『いわて三ツ星ecoマナーアクション』に取り組んでいます。

- ☆いわて三ツ星ecoマナー1 「ごみのポイ捨てや不法投棄をしない」
- ☆いわて三ツ星ecoマナー2 「レジ袋などの使い捨てプラスチックの使用は控える」
- ☆いわて三ツ星ecoマナー3 「食事は 楽しく・おいしく・残さず食べる」

皆さんも一緒にできることから取り組みましょう。

○また、「いわてごみゼロ・3R推進ポスターコンクール」を毎年開催し、入賞作品を展示してごみゼロや3Rを呼びかけています。
ポスターコンクールへのたくさんの応募をお待ちしています。

担当:資源循環推進課 資源循環担当

【環境生活部】

＜環境学習のこと＞

○環境学習交流センターでは、岩手県内で活動する団体や個人で、環境について学びたい方、環境保全活動をしてみたい方への支援や各種支援制度（環境アドバイザー、環境学習応援隊企業）の御案内、環境に関する情報の収集・発信等、さまざまな方向から環境に関する活動支援を行っています。

- ・ 施設には展示スペースがあり、資料コーナーや図書資料、企画展示など、いつでも環境についての情報を見ることができます。
- ・ 学校や子ども会、市民団体等で環境について学ぶ「訪問学習」の受け入れも随時受け付けています。
- ・ 20名程度のミーティングに使用できるスペースがあり、環境保全団体の皆さんに御利用いただけます。（要事前予約、当センター主催事業等で使用していない場合に限りです）

○岩手県地球温暖化防止活動推進センターでは、岩手県内の温暖化防止に向けた取り組みをサポートしています。

- ・ 地球温暖化・気候変動に関する情報発信や普及啓発、学習・研修のお手伝い、岩手県内の活動団体の支援等を行っています。

「環境学習交流センター」



「岩手県地球温暖化防止活動推進センター」



○学校における環境学習の支援を図るため、本県の自然の豊かさや様々な環境問題について紹介した児童向け環境副読本（いわて環境ワークブック）を作成し、県内の小学校5年生全員に配付しています。また、小学生に家庭でのCO₂削減に取り組んでもらうため、「地球温暖化を防ごう隊」の活動を実施しています。

「いわて環境ワークブック」



「地球温暖化を防ごう隊」



○平成30年度から開催している「いわて環境塾」では、環境保全活動等に関係する知識などを全6回の講座を通じて学ぶことができる機会を提供しています。

「令和5年度いわて環境塾（開催終了）」



担当：環境生活企画室 企画担当

いただいたご意見:動物愛護のこと

追加

【小学校】

- ・将来、鹿や犬、猫を殺したり、殺処分したり、捨てたりしない、平和な街にしたい。
- ・動物をあまり殺さない岩手県にしたいです。

【中学校】

- ・動物の殺処分0になってほしいです。
- ・殺処分がこの世からなくなり、人々が動物を愛すようになってほしい。

県(教委)からのコメント

【環境生活部】

○動物は、人々の心に潤いと喜びを与え、地域社会や皆さんを含む県民の生活を豊かにする大切な存在になっています。

命ある動物に対して優しい眼差しを向けることは、動物の愛護の基本であり、人の命も動物の命もどちらも大切だということです。

○一方で、動物愛護の考え方が広く認められるためには、動物の飼い主が、社会的責任を十分に自覚し、人に迷惑をかけないように動物を適正に管理していることが前提となります。

○県では、「動物の愛護管理推進計画」に基づいて、「人と動物が共生する社会」を目指して様々な取り組みをしています。動物が好きな人にも苦手な人にも、動物愛護の考え方が広くいきわたることによって実現する社会を目指しています。

○例えば、動物愛護団体や獣医師会と協働して、動物愛護の考えを広く県民に周知するためにしつけ教室や動物愛護週間行事を開催するほか、殺処分の減少に向けて、新たな飼い主へ積極的に譲渡するために、譲渡会の開催に取り組んでいます。

担当：県民くらしの安全課 食の安全・安心担当

いただいたご意見:地域の福祉のこと

【高等学校】

・地域の福祉について さまざまな機関と協力しながら人々のウェルビーイングを向上できるような学習をしたいです。

県(教委)の対応状況

【保健福祉部】

○ 県や市町村の地域福祉担当課、各種社会福祉施設やサービス事業所において、校外学習を受け入れているところがあるほか、市町村社会福祉協議会等で実施しているボランティア体験を通じた現場学習の機会が提供されていますので、是非活用してください。

○ いただいた意見は、今年度策定を進めている、第4期岩手県地域福祉支援計画(仮称)において、参考とさせていただきます。

担当:地域福祉課 地域共生社会推進担当

いただいたご意見:共生社会に向けて

追加

【小学校】

・LGBTQ+やSOGIなどの当事者に優しい岩手 一人称など好きにできるように

【中学校】

・最近「多様性」という言葉をよく聞くが、多様性とは何なのかについて。

県(教委)からのコメント

【環境生活部】

○性のあり方は多様であり、からだの性やこころの性などの要素は男女に二分されるものではなく、性のあり方、感じ方はグラデーションをもって、一人ひとり違います。

○性的マイノリティ(LGBT等)の人たちにとってだけでなく、すべての人にとって心地よく住みやすい社会を目指して、県では、性の多様性について一人ひとりが理解しお互いに配慮できるよう、理解促進に取り組んでいます。

○県では、岩手県男女共同参画センターにおいて、LGBT等についてまとめたリーフレットの配布や学習に役立つ図書の貸し出し、学校への出前講座などを行っています。また、性に関することで悩みを抱えている人への相談窓口を設けています。

岩手県男女共同参画センターについてはインターネット上でも情報提供しておりますので、ぜひご覧ください。

【教育委員会】

○県教育委員会では、児童生徒が権利をもつ主体であり、大人と同じ一人の人間として基本的人権を有することを理解、尊重した上で、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」ことができるような実践的態度や行動力を育成する「学校教育指導指針」を示しており、各学校においては、保健体育等の授業において性の多様性について学ぶほか、人権尊重の視点に立った学校・学級づくりを通じ、児童生徒一人一人の自己肯定感・自尊感情を高め、自己実現や学習意欲の向上を図ることを目指しています。

また、人権教育の充実を図るための教員基本研修の中で、ジェンダー平等について取り上げ、他の個別的な人権課題とともに教員の理解を促し、性の多様性を踏まえた、多様性と包摂性のある学校文化の醸成に取り組んでいます。

担当:若者女性協働推進室 青少年・男女共同参画担当
学校教育室 義務教育担当

いただいたご意見:地域の図書館などについて

【小学校】

- ・図書館に読みたい本や気になる本などが無い時があるので、本を増やしてほしいです。
- ・図書館の本をいっぱい読みたいので、いろんな本を置いてほしいなと思います。
- ・もう少し図書館の勉強スペースを増やしてほしい。

【中学校】

- ・図書館の本を増やしてほしい。(漫画、図鑑など)
- ・図書館に学習関連の本を増やしてほしい。
- ・地域で、気軽に誰でも行ける学習専用の場が少ないので、増やせばいいと思った。

【高等学校】

- ・もっと子どもが勉強しやすい場所が欲しいです。
- ・学生が無料で自学できる場所をもっと増やしてほしい。

県(教委)の対応状況

【教育委員会】

- 「読書は心の栄養」と言われます。私たちは、読書を通して新しい知識を得たり多様な文化への理解を深めたりすることのほか、表現力を高め、想像力を豊かにすることができます。また、読書は集中力を高めることや学ぶ力に良い影響を与えることが様々な研究で明らかになっています。
- 学校図書館や市町村の図書館では、学校規模(学級数)に応じて、計画的に新たな本を整備しています。また、基準を定め、古くなった本を新しく買い替えるなど、資料の充実に努めています。
- 岩手県立図書館では、県内の学校が授業等で活用できるよう、テーマに沿った本をセットにして貸し出す「セット貸出」や、市町村の図書館が所蔵していない本を貸し出す「協力貸出」といった支援を行っています。
- 岩手県教育委員会では、皆さんの意見を踏まえ、こうした取組を広く周知していくとともに、学校や市町村の図書館資料をさらに充実していくための方策等について、検討を進めていきます。
- また、図書館や公民館などにおける学習場所については、皆さんの意見の内容を設置者(市町村)と共有し、その確保や充実に向けた検討を促すとともに、他の利用者への理解についてもお願いしていきます。

担当:生涯学習文化財課 生涯学習担当

いただいたご意見:文化財のことを知りたい!

【小学校】

- ・岩手県にある史跡をしりたいです。
- ・学校では岩手の偉人として勉強しましたが郷土芸能や文化財のことはあまり知れていないように感じます。なので文化財や郷土芸能のことを詳しく知れる機会を作ってくれるといいかなと思います。それに岩手の偉人だけでなくほかの偉人も知れる機会を作ってほしいと思います。

【中学校】

- ・地域に残っている、古くから残っている物や文化など、もっと詳しく知りたい。実際にどのようなものなのかも見てみたい。
- ・岩手県内で見た時、平泉にある文化財などは知っているのですが、盛岡の文化財をあまり知らないで、盛岡にある文化財について知りたいです。

【高等学校】

- ・地域のさまざまな伝統文化や歴史、伝統的な建物などの見学や体験したい。

県(教委)の対応状況

【教育委員会・文化スポーツ部】

○岩手県には「中尊寺金色堂」や「早池峰神楽」などの世界に誇れる文化財があります。また、皆さんの住んでいる地域にも古くから伝わり守られてきた様々な種類の文化財があります。岩手県では、これらの文化財を紹介するウェブサイト「いわての文化情報大事典」を作成しています。このサイトでは、国・県指定の文化財をはじめ、民俗芸能や岩手の偉人、食文化、文化財等を活用した活動の様子などを紹介していますので、ぜひご覧ください。

○岩手県立博物館には、岩手県内の歴史や文化、自然についての多くの展示資料があります。県内の遺跡で発掘された出土品や、美術工芸品など、貴重な文化財が実物で展示されています。また、屋外には、重要文化財の古民家が2棟あり、実際に古民家に入って昔の人の生活の様子を体験することができます。

○平泉町にある「柳之御所遺跡」では発掘調査が行われていますが、毎年10月頃に発掘調査の報告会を開いています。当日は発掘に携わった専門の職員から、遺跡の発掘の結果について詳しい説明があります。

また、隣接する「平泉世界遺産ガイダンスセンター」は、平泉の世界遺産はもちろん、県内のその他の世界遺産についても学習できる施設になっていますので、ぜひお立ち寄りください。

○次期「岩手県教育振興計画(仮称)」においても、「貴重な建造物や美術工芸品等の有形文化財の保護、民俗芸能等の地域に伝わる無形文化財の保護・伝承を行う」ことを盛り込み、地域の貴重な財産である文化財を皆さんや皆さんの次の世代に継承できるよう取り組んでいきます。

「いわての文化情報大事典」

<http://www.bunka.pref.iwate.jp/>

担当:生涯学習文化財課 文化財担当、柳ノ御所担当
文化振興課 文化芸術担当、世界遺産担当

いただいたご意見:伝統文化を守り、伝えたい!

【小学校】

- ・昔地域のあたりに神楽や鹿踊りなどの郷土芸能が沢山あったようなのでそれについて知っている人から話を聞いてみたいです。
- ・いつからその文化が始まったのかということや、どうしたらその文化や文化財や郷土芸能をずっと守れるかをもっと勉強して、文化や文化財、郷土芸能を守って行く活動をしてみたいです。

【中学校】

- ・郷土芸能について学んでみたいし、もっとたくさんのひとたちに知ってほしい。
- ・岩手の郷土料理についてもっと詳しく学びたい。

【高等学校】

- ・方言について学んでみたい。理由は、方言も地域特有の重要な無形文化であると思うから。普段何気なく使う言葉も実は方言だったり、改めて地元をよく理解することで地元愛にもつながると思うし、また津軽弁や博多弁の様に地域を発信する重要なアイコンにもなると思うから。
- ・岩手県全市町村の郷土料理や、昔の事をたくさん知りたい。

県(教委)の対応状況

【教育委員会・文化スポーツ部・農林水産部】

○自分たちの住んでいる地域の歴史や文化を知ることは、住んでいる地域の新たな一面を知ることにもつながり、地元への愛着も生まれます。県では、「世界遺産出前授業」を通して児童生徒の皆さんに県内の世界遺産について学んでもらう取組を行っています。

このほか世界遺産に限らず、皆さんの住む地域の歴史や文化財について学んでもらうことができるような取組もできないかを考えていきます。

○民俗芸能の発表の場として、県では「岩手県民俗芸能フェスティバル」を開催しています。また、市町村や団体が独自に行っている発表会もあります。これらの取組が多くの人に知ってもらい、見てもらえるように市町村や団体と連携しながら、周知・広報活動を支援していきます。

○また、県では、郷土料理に詳しくて、作るのが上手な人を、「岩手県食の匠」に認定しています。

食の匠は、それぞれの地域で、郷土料理の作り方や食べられてきた背景を伝える先生として活動しています。「人」と「料理」をセットで認定していて、今までに認定された食の匠と料理は、296人(品)です。

県や国のホームページで見ることができます。一部の料理は、動画でも紹介しています。もっと詳しく知りたいときは、県内の各地域で作ったパンフレットや冊子がありますので、連絡をください。

○県民の皆さんが、県や身近な地域の伝統文化や文化財に興味を持ち、その保存や活用に協力してくださるよう、これからも周知・啓発に一層努めていきます。

「岩手県 食の匠」「農林水産省 うちの郷土料理」



担当:生涯学習文化財課 文化財担当
文化振興課 世界遺産担当
農業技術普及課 農業革新支援担当